

平成18年度

科学研究費補助金公募要領

【特別研究促進費（年複数回応募の試行）】

〈今回募集する研究計画の応募資格者の範囲〉

本公募要領により募集する科学研究費補助金の応募資格者は、次の者に限定しております。

- 1 研究者名簿の登録最終締切日（平成17年10月21日）の翌日以降、新たに科学研究費補助金の応募資格を得た者（新たに研究者番号を取得する必要がある者）
- 2 研究者名簿の登録最終締切日（平成17年10月21日）の翌日以降に、再び科学研究費補助金の応募資格を得た者
- 3 平成17年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、平成17年11月に受付が行われた科学研究費補助金に応募できなかった者

※ 既に研究者番号を取得している者については、上記「2」又は「3」に該当する者だけが応募することができますので、それ以外の者は、昨年11月の応募の有無に関わりなく応募してはなりません。

平成18年3月3日

文部科学省

今回の募集の趣旨

今回の募集は、昨年9月に公募を行い11月に受付を行った例年の募集とは別に行うもので、昨年11月の受付後、応募資格を得た者及び平成17年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、昨年11月に応募できなかった者を対象として行うものです。

科学研究費補助金は、これまで例年1回、補助金を交付する年度の前年の11月に応募を受け付け、6月に補助金を交付しておりますが、今回の募集は、迅速かつ機動的な研究助成を行う観点から、年複数回応募を実現していくため、応募資格者を上記の者に限定して、年複数回応募を試行するものです。

なお、今回募集する研究計画が採択された場合には、「特別研究促進費」により研究費を措置しますが、募集する研究計画は、「基盤研究(A)」、「基盤研究(B)」、「基盤研究(C)」、「若手研究(A)」、「若手研究(B)」のいずれかに相当するものです。

目 次

I 今回の公募の内容

1	公募する研究計画	1
2	応募資格	2
3	研究組織	3
4	経費	4
5	公募の対象とならない研究計画	4
6	審査希望分野の選定	4
7	重複応募の取り扱い（重複応募の制限）	5
8	個人情報の取扱等	5
9	審査の方法	5
10	関係法令等に違反した場合の取り扱い	6
11	応募から交付までのスケジュール	6
12	災害等に関する緊急の研究課題への対応	6
	別表1 「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」及び「若手研究（スタートアップ）」 に関する重複応募の制限	7
	別表2 系・分野・分科・細目表	8
	(1)平成18年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表	8
	(2)平成18年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表の別表（時限付き分科細目表）	10
	別表3 「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧	12

II 科学研究費補助金の概要

1	科学研究費補助金の目的・性格	30
2	研究種目	30
3	文部科学省と独立行政法人日本学術振興会の関係	31
4	科研費に関するルール	31

III 応募書類の作成・応募方法等

1	電子申請システムを利用した応募	32
2	応募書類の作成	32
3	応募方法	33

IV 研究機関が行う事務

1	応募資格の確認	34
2	研究代表者への確認	34
3	応募に係る手続	34
4	応募書類の取りまとめ	34
5	応募書類の提出等	36
	(別添) 電子申請システムを利用した応募の手続	37

V 参考資料

1	平成17年度科学研究費補助金の交付状況	41
2	予算額等の推移	43
3	平成17年度研究種目一覧	44

問合せ先	45
------	----

〈別冊〉

平成18年度科学研究費補助金公募要領「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」

（応募書類の様式・記入要領）

研究者が作成する様式

○研究計画調書

〈前半部分・応募書類（Web入力項目）〉

- ・ 応募情報（Web入力項目）（「特別研究促進費」（年複数回応募の試行））作成・記入要領
- ・ 応募情報（Web入力項目）（画面イメージ）

〈後半部分・応募内容ファイル〉

- ・ 様式S-1-14 基盤研究（A・B・C）相当 研究計画調書作成・記入要領（新規）
研究計画調書（新規）様式
- ・ 様式S-1-15 若手研究（A・B）相当 研究計画調書作成・記入要領（新規）
研究計画調書（新規）様式

○研究分担者承諾書

- ・ 様式C-1-1 研究分担者承諾書（他機関用）
- ・ 様式C-1-2 研究分担者承諾書（同一機関用）

研究機関が作成する様式

- ・ 様式T-1-3 応募書類の提出書
- ・ 様式T-2-1 研究計画調書表紙

I 今回の公募の内容

1 公募する研究計画

(1) 「基盤研究」(審査区分「一般」)相当の研究計画

①対 象 一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、独創的・先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画

②応募総額 応募総額により次の3種類に区分

区 分	応 募 総 額
A	2,000万円以上 5,000万円以下
B	500万円以上 2,000万円以下
C	500万円以下

③研究期間 2～4年間

※ 研究期間の1年度目は、「特別研究促進費」から研究費を措置するが、2年度目以降は、応募者が選択した区分(A、B、C)に応じて、それぞれ「基盤研究(A)」、「基盤研究(B)」、「基盤研究(C)」から研究費を措置する。また、「基盤研究(A)」から研究を措置する研究課題については、2年度目以降間接経費(注)を措置する。

(注) 間接経費は、研究計画の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費(直接経費(配分額)の30%に相当する額)であり、研究代表者が所属する研究機関が使用するものです。

(2) 「若手研究」相当の研究計画

①対 象 平成18年4月1日現在で37歳以下の研究者(昭和43年4月2日以降に生まれた者)が一人で行う研究計画であって、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画

②応募総額 応募総額により次の2種類に区分

区 分	応 募 総 額
A	500万円以上 3,000万円以下
B	500万円以下

③研究期間 2～3年間

※ 研究期間の1年度目は、「特別研究促進費」から研究費を措置するが、2年度目以降は、応募者が選択した区分(A、B)に応じて、それぞれ「若手研究(A)」、「若手研究(B)」から研究費を措置する。また、若手研究(A)から研究費を措置する研究課題については、2年度目以降間接経費を措置する。

2 応募資格

(1) 応募資格

応募資格は、所属する研究機関(注)において前年の研究者名簿の登録最終締切日(平成17年10月21日)の翌日以降に、次の①～④のすべての要件を満たした者、及び平成17年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、次の①～④のすべての要件を満たしていても、平成17年11月に応募できなかった者です。

また、応募時点において応募者が上記の者であることを所属する研究機関において確認されていることが必要です。

既に研究者番号を有している者については、研究者名簿の登録最終締切日(平成17年10月21日)の翌日以降に、再び次の①～④のすべての要件を満たした者、及び平成17年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、平成17年11月に応募できなかった者だけが応募することができますので、それ以外の者は、昨年11月の応募の有無に関わりなく応募してはなりません。また、昨年11月の応募書類の提出時に、現在所属する研究機関とは別の研究機関に所属し、既に研究者番号を有していた者も、昨年11月の応募の有無に関わりなく応募してはなりません。

<研究者に係る要件>

- ① 研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること(有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない。また、研究活動以外のものを主たる職務とする者も含む。)
- ② 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること(研究の補助は除く。)

<研究機関に係る要件>

- ③ 補助金が交付された場合に、その研究活動を、当該研究機関の活動として行わせること
- ④ 補助金が交付された場合に、機関として補助金の管理を行うこと

(注) 科学研究費補助金取扱規程(文部省告示)第2条に規定される研究機関

- 1) 大学及び大学共同利用機関
- 2) 文部科学省の施設等機関のうち学術研究を行うもの
- 3) 高等専門学校
- 4) 文部科学大臣が指定する機関

<不正な使用等に伴う応募資格の停止>

科研費に関する不正な使用を行い、補助金の全部又は一部を返還した研究者等については、以下のとおり、一定期間、補助金を交付しないこととしています。下記(1)～(3)に該当する研究者については、氏名、研究者番号、交付停止期間を公表することがあります。また、科研費以外の研究費で不正な使用等を行い、一定期間当該研究費の交付対象から除外される研究者についても、下記(1)の取り扱いとなります。

- (1) 不正な使用等を行った研究者(共謀した者を含む)
 - ・ 他の用途への使用を行っていなかった場合には、補助金を返還した年度の翌年度及び翌々年度
 - ・ 他の用途への使用を行っていた場合には、補助金を返還した年度の翌年度から程度に応じて2～5年
- (2) 不正な使用等を行った研究者と共同して研究を行っていた研究代表者及び研究分担者(平成16年度の補助金から適用)
 - ・ 不正な使用を行った研究者が、他の用途への使用を行っていたか否かにかかわらず、補助金を返還した年度の翌1年度(新規の研究課題のみ対象)
- (3) 不正に科研費を受給した研究者(共謀した者を含む)
 - ・ 補助金を返還した年度の翌年度から5年間

(2) 応募する研究者(研究代表者)

今回募集する研究計画への応募は、応募資格を有する者が研究代表者(3 研究組織(1)参照)となって行ってください。

(3) 複数の研究機関に所属する研究者

複数の研究機関において応募資格を有する場合には、いずれか1つの研究機関から応募してください。

(4) 研究者名簿への登録

今回募集する研究計画に応募しようとする者は、応募書類の提出期間までに応募資格を有し、平成18年3月3日付け17振学助第139号「科学研究費補助金研究者名簿について（依頼）」に基づき、4月17日までに、所属する研究機関がとりまとめる研究者名簿に登録されていなければなりません。

なお、既に当該研究者名簿に登録されている者であっても、「所属」、「職」等に修正すべき事項がある場合には、4月17日までに、所属する研究機関がとりまとめる研究者名簿に正しい情報を登録する必要があります。

3 研究組織

(1) 研究代表者

- ① **研究代表者**は、補助事業者であり、研究計画の遂行（研究成果の取りまとめを含む。）に関して**すべての責任を持つ研究者**のことをいいます。
なお、研究期間中に応募資格の喪失、外国出張その他の理由により、研究代表者としての責任を果たせなくなることが見込まれる者は、研究代表者となることを避けてください。
- ② 研究代表者は、研究計画の性格上、必要があれば研究分担者（下記(2)参照）及び研究協力者（下記(3)参照）とともに**研究組織**を構成することができます。
- ③ 研究代表者は、研究組織を構成する場合には、研究分担者との関係を明らかにするため、当該研究分担者が異なる研究機関に所属する者の場合は「**研究分担者承諾書（他機関用）**」を、同じ研究機関に所属する者の場合は「**研究分担者承諾書（同一機関用）**」を必ず徴し、保管しておくなければなりません。

(2) 研究分担者

- ① **研究分担者**は、補助事業者であり、研究代表者と共同して研究計画の遂行に中心的役割を果たすとともに、その遂行について責任を持つ研究者で、「2(1) 応募資格」に掲げる①～④の要件をすべて満たす者（研究者名簿に登録されている者）でなければなりません。
なお、研究期間中に応募資格の喪失、外国出張その他の理由により、研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる者は、研究分担者となることを避けてください。
- ② 研究分担者は、研究代表者と同じ研究機関に所属する者であるか否かを問いません。

(3) 研究協力者

研究協力者は、研究代表者及び研究分担者以外の者で研究計画に随時参加し、その研究への協力をする者のことをいいます。

（例：日本学術振興会の特別研究員、外国の研究機関に所属する研究者（海外共同研究者）、応募資格を有しない企業の研究者 等）

4 経費

(1) 対象となる経費（直接経費）

研究計画の遂行に必要な経費及び研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とします。

※ 研究計画のいずれかの年度において、「設備備品費」、「旅費」又は「謝金等」のいずれかの経費が90%を超える研究計画の場合には、当該経費の研究遂行上の必要性について、研究計画調書に記載しなければなりません。

(2) 対象とならない経費

研究計画の遂行に必要な経費であっても、次の経費は対象となりません。

- ① 建物等の施設に関する経費（直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付費等のための経費を除く。）
- ② 机、いす、複写機等、研究機関で通常備えるべき物品を購入するための経費
- ③ 補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ④ その他、間接経費を使用することが適切な経費

(3) 研究分担者に配分する分担金

研究代表者は、異なる研究機関に所属する者を研究分担者として加える研究であって、当該研究分担者に補助金の一部（分担金）を配分しないと研究遂行上大きな支障がある場合には、分担金を配分することができます。

5 公募の対象とならない研究計画

次の研究計画は公募の対象としていません。

- ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画
- ② 他の経費で措置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画
- ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）
- ④ 業として行う受託研究
- ⑤ 研究期間のいずれかの年度における研究経費の額が10万円未満の研究計画

6 審査希望分野の選定

応募に際しては、研究計画の内容に照らし、審査希望分野を示す分類表である別表2「平成18年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表」（以下「細目表」という。8～9頁参照）から適切な細目を1つ必ず選定するとともに、別表3「付表キーワード一覧」（12～29頁参照）より、選定した細目内で最も関連が深いと思われるキーワードを1つ必ず選定してください。

「時限付き分科細目」について（「基盤研究（C）相当」における特例）

学術研究の動向に柔軟に対応するため、設定期間を限って流動的に運用する「時限付き分科細目」（10～11頁参照）を「細目表」の別表として設けています。「基盤研究（C）相当」についてのみ、この「時限付き分科細目表」から審査希望分野として1分野を選定できます。なお、分野の設定期間にかかわらず、研究期間は2～4年間となります。

7 重複応募の取り扱い（重複応募の制限）

- (1) 一人の研究者が今回募集する研究計画に研究代表者として応募できる研究課題数は、1 課題です。
- (2) 競争的研究資金の不合理な重複又は過度の集中を避けるために必要な範囲で、応募内容について、他府省を含む他の競争的研究資金担当課（独立行政法人である配分機関を含む。）に情報提供する場合があります。また、不合理な重複又は過度の集中が認められた場合には、補助金を交付しないことがあります。
- (3) **他の研究種目との重複応募の制限**

本研究種目に応募する場合には、平成18年3月3日付けで日本学術振興会から通知された「平成18年度科学研究費補助金公募要領（若手研究（スタートアップ）」により募集する研究種目に応募してはなりません。

他の研究種目との重複応募の制限については、別表1「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」及び「若手研究（スタートアップ）」に関する重複応募の制限（7頁）のとおりとなります。

なお、本研究種目で採択された研究課題の2年目以降は、応募者が選択した区分に応じて、それぞれ「基盤研究（A）」、「基盤研究（B）」、「基盤研究（C）」、「若手研究（A）」、「若手研究（B）」から研究費を措置することとしています。
- (4) 複数の研究機関において応募資格を有する研究者が、それぞれの研究機関から応募する場合であっても、重複応募の制限は、当該研究者（研究代表者）に着目して適用されます。
- (5) 平成17年10月31日付けで日本学術振興会が通知した「平成18年度科学研究費補助金公募要領（奨励研究）」により「奨励研究」（注）に応募した者が、応募書類提出後、本公募要領で定める応募資格を有し、応募書類を提出した場合には、「奨励研究」の応募研究課題が採択された場合であっても、当該研究課題に係る補助金は交付しません。
（注）「奨励研究」とは、教育・研究機関の職員、企業の職員又はこれら以外の者で科学研究を行っている者が一人で行う研究を対象とします。
- (6) 日本学術振興会の「特別研究員」及び「外国人特別研究員」は、今回募集する研究計画には応募してはなりません。

8 個人情報の取扱等

応募書類に含まれる個人情報は、競争的研究資金の不合理な重複や過度の集中の排除、科学研究費補助金の業務のために利用（データの電算処理及び管理を外部の民間企業に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。）する他、「政府研究開発データベース」への入力のため内閣府に提供する予定です。

なお、採択された研究課題については、国立情報学研究所のデータベース等により研究課題名、研究代表者氏名、交付予定額等を公開します。

9 審査の方法

科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において、独立行政法人日本学術振興会が「基盤研究」、「若手研究」について行っている二段審査制（※）相当の方法で実施する予定です。

※ 独立行政法人日本学術振興会が行う科学研究費補助金の審査に関する審査方針・評定基準は、日本学術振興会のホームページ（<http://www.jspss.go.jp/i-grantsinaid/index.html>）でご覧いただけます。

10 関係法令等に違反した場合の取り扱い

応募書類に記載した内容が虚偽であったり、関係法令・指針等に違反し、研究計画を実施した場合には、補助金の交付を取り消すことがあります。

11 応募から交付までのスケジュール

平成18年	3月 3日	公募
	4月17日	研究者名簿登録締切日
	5月17日～19日	応募書類受付
	6月～7月	審査
	7月中旬	交付内定
	8月上旬	交付申請
	8月中旬	交付決定
	8月下旬	補助金の送金

12 災害等に関する緊急の研究課題への対応

突発的に発生した災害に関する研究などであり、平成18年度に実施しなければならない緊急の研究課題（早急に研究を開始しないと対象が滅失してしまう研究など）であって、極めて重要なものが発生した場合には、今回募集する「年複数回応募の試行」に係る研究計画とは別に、随時、文部科学省研究振興局学術研究助成課に、研究機関を通じて連絡・相談してください。

「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」及び「若手研究（スタートアップ）」に関する重複応募の制限

1. 同一研究者が、研究代表者として新規に応募できる「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」の研究課題は、1件に限る。
2. 同一研究者が、研究代表者として新規に応募できる「若手研究（スタートアップ）」の研究課題は、1件に限る。
3. 上記「1.」「2.」に加え、新規に応募しようとする研究代表者又は研究分担者（A欄）には、B欄の研究種目との間で、次表の重複応募の制限が課される。

表の見方： A欄の研究課題を1課題応募しようとする者が、更にB欄の研究種目にも応募しようとする場合における、当該2課題の取扱い。

A欄 応募しようとする研究課題			B欄 A欄以外に応募しようとする研究課題		年複数回応募の試行		若手研究 スタートアップ	継続の研究課題 (注1)	
					基盤研究相当	若手研究相当			
			新規	新規	新規	新規			
			代表者	分担者	代表者	代表者	代表者	分担者	
年複数回 応募の試行	基盤研究A相当	新規	代表者	×		×	×	△	
			分担者					☆	
	基盤研究B相当	新規	代表者	×		×	×	△	
			分担者					☆	
	基盤研究C相当	新規	代表者	×		×	×	△	
			分担者					☆	
	若手研究A相当	新規	代表者	×		×	×	△	
	若手研究B相当	新規	代表者	×		×	×	△	
	若手研究スタートアップ	新規	代表者	×		×	×	△	

空白：双方の応募課題とも審査に付される

×：双方の応募課題とも審査に付されない

△：A欄の研究課題が審査に付されない

☆：継続の研究課題が「特別推進研究」の場合のみ、A欄の研究課題が審査に付されない

継続の研究課題が「特別推進研究」以外の研究課題の場合には、双方の研究課題とも審査に付される

(注1) 「継続の研究課題」とは、平成18年度に補助金の交付を受けて行う「特別推進研究」、「特定領域研究」、「基盤研究」、「萌芽研究」、「若手研究(A、B)」及び「学術創成研究費」の研究課題。

(注2) 平成18年度の「奨励研究」に応募した者が、応募書類提出後、「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」又は「若手研究（スタートアップ）」の応募資格を有し、応募書類を提出した場合には、「奨励研究」の応募研究課題が採択された場合であっても、当該研究課題に係る補助金は交付しません。

(注3) 日本学術振興会の「特別研究員」及び「外国人特別研究員」は、今回、文部科学省が公募する「特別研究促進費（年複数回応募の試行）」及び日本学術振興会が公募する「若手研究（スタートアップ）」に応募することはできません。

別表2 系・分野・分科・細目表

(1)平成18年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表

系	分野	分科	細目名	細目番号	備考	系	分野	分科	細目名	細目番号
総合・新領域系	総合領域	情報学	情報学基礎	1001		人文社会科学系	人文学	哲学	哲学・倫理学	2801
			ソフトウェア	1002					中国哲学	2802
			計算機システム・ネットワーク	1003	A B				印度哲学・仏教学	2803
			メディア情報学・データベース	1004	A B				宗教学	2804
			知能情報学	1005					思想史	2805
			知覚情報処理・知能ロボティクス	1006	A B			美学・美術史	2806	
			感性情報学・ソフトコンピューティング	1007	A B			日本文学	2901	
			情報図書館学・人文社会情報学	1008	A B			ヨーロッパ語系文学	2902	
			認知科学	1009				各国文学・文学論	2903	
			統計科学	1010				言語学	3001	
			生体生命情報学	1011	A B			日本語学	3002	
		神経科学	神経科学一般	1101			英語学	3003		
			神経解剖学・神経病理学	1102	A B		日本語教育	3004		
			神経化学・神経薬理学	1103			外国語教育	3005		
			神経・筋肉生理学	1104	A B		史学一般	3101		
		実験動物学	実験動物学	1201			日本史	3102		
							東洋史	3103		
		人間医工学	医用生体工学・生体材料学	1301	A B		西洋史	3104		
			医用システム	1302			考古学	3105		
			リハビリテーション科学・福祉工学	1303	A B		人文地理学	3201		
		健康・スポーツ科学	身体教育学	1401	A B		文化人類学	3301		
			スポーツ科学	1402	A B		基礎法学	3401		
			応用健康科学	1403	A B		公法学	3402		
		生活科学	生活科学一般	1501	A B		国際法学	3403		
			食生活学	1502	A B		社会法学	3404		
		科学教育・教育工学	科学教育	1601			刑事法学	3405		
	教育工学		1602		民法法学	3406				
	科学社会学・科学技術史		1701		新領域法学	3407				
	文化財科学	文化財科学	1801		政治学	3501				
		地理学	1901		国際関係論	3502				
	複合新領域	環境学	環境動態解析	2001		理論経済学	3601			
			環境影響評価・環境政策	2002	A B	経済学説・経済思想	3602			
			放射線・化学物質影響科学	2003	A B	経済統計学	3603			
			環境技術・環境材料	2004	A B	応用経済学	3604			
		ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学	2101	A B	経済政策	3605			
			ナノ材料・ナノバイオサイエンス	2102	A B	財政学・金融論	3606			
			マイクロ・ナノデバイス	2103	A B	経済史	3607			
		社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	2201	A B	経営学	3701			
			自然災害科学	2202	A B	商学	3702			
		ゲノム科学	基礎ゲノム科学	2301	A B	会計学	3703			
			応用ゲノム科学	2302	A B	社会学	3801			
		生物分子科学	生物分子科学	2401		社会福祉学	3802			
		資源保全学	資源保全学	2501	A B	社会心理学	3901			
		地域研究センター	地域研究	2601		教育心理学	3902			
			ジェンダー	2701		臨床心理学	3903			
						実験心理学	3904			
						教育学	4001			
					教育社会学	4002				
					教科教育学	4003				
					特別支援教育	4004				

「総合・新領域系」の備考欄において、A、Bと表示のある26細目は、キーワードにより2分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、これらの細目に応募する場合には、「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧（総合・新領域系）（12～16頁参照）により、必ず、A又はBを選択し、応募すること。

※ 基盤研究（C）相当の審査希望分野として、本表のほか「時限付き分科細目表」（10～11頁参照）に掲げる14細目を設定しています。

系	分野	分科	細目名	細目番号
理工系	数物系科学	数学	代数学	4101
			幾何学	4102
			数学一般(含確率論・統計数学)	4103
			基礎解析学	4104
			大域解析学	4105
		天文学	天文学	4201
			素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	4301
		物理学	物性 I	4302
			物性 II	4303
			数理物理・物性基礎	4304
			原子・分子・量子エレクトロニクス・フラスマ	4305
			生物物理・化学物理	4306
			固体地球惑星物理学	4401
			気象・海洋物理・陸水学	4402
		地球惑星科学	超高層物理学	4403
			地質学	4404
			層位・古生物学	4405
			岩石・鉱物・鉱床学	4406
			地球宇宙化学	4407
	プラズマ科学	プラズマ科学	4501	
	化学	基礎化学	物理化学	4601
			有機化学	4602
			無機化学	4603
		複合化学	分析化学	4701
			合成化学	4702
			高分子化学	4703
			機能物質化学	4704
			環境関連化学	4705
		材料化学	生体関連化学	4706
			機能材料・デバイス	4801
			有機工業材料	4802
	工学	応用物理学・工学基礎	無機工業材料	4803
			高分子・繊維材料	4804
			応用物性・結晶工学	4901
			薄膜・表面界面物性	4902
			応用光学・量子光工学	4903
			応用物理学一般	4904
			工学基礎	4905
		機械工学	機械材料・材料力学	5001
			生産工学・加工学	5002
			設計工学・機械機能要素・トライボロジー	5003
			流体工学	5004
			熱工学	5005
			機械力学・制御	5006
			知能機械学・機械システム	5007
		電気電子工学	電力工学・電気機器工学	5101
			電子・電気材料工学	5102
電子デバイス・電子機器			5103	
通信・ネットワーク工学			5104	
システム工学			5105	
土木工学		計測工学	5106	
		制御工学	5107	
		土木材料・施工・建設マネジメント	5201	
		構造工学・地震工学・維持管理工学	5202	
		地盤工学	5203	
		水工水理学	5204	
		交通工学・国土計画	5205	
		土木環境システム	5206	
	建築学	建築構造・材料	5301	
		建築環境・設備	5302	
		都市計画・建築計画	5303	
		建築史・意匠	5304	
	材料工学	金属材料	5401	
無機材料・物性		5402		
複合材料・物性		5403		
プロセス工学	構造・機能材料	5404		
	材料加工・処理	5405		
	金属生産工学	5406		
	化工物性・移動操作・単位操作	5501		
	反応工学・プロセスシステム	5502		
総合工学	触媒・資源化学プロセス	5503		
	生物機能・バイオプロセス	5504		
	航空宇宙工学	5601		
	船舶海洋工学	5602		
	地球・資源システム工学	5603		
	リサイクル工学	5604		
	核融合学	5605		
	原子力学	5606		
	エネルギー学	5607		
	生物学	基礎生物学	遺伝・ゲノム動態	5701
生態・環境			5702	
植物生理・分子			5703	
形態・構造			5704	
動物生理・行動			5705	
生物科学		生物多様性・分類	5706	
		構造生物化学	5801	
		機能生物化学	5802	
		生物物理学	5803	
		分子生物学	5804	
人類学		細胞生物学	5805	
	発生生物学	5806		
	進化生物学	5807		
	人類学	5901		
	生理人類学	5902		

系	分野	分科	細目名	細目番号	備考
生物系	農学	農学	畜産学	6001	
			作物学・雑草学	6002	
			園芸学・造園学	6003	
			植物病理学	6004	
			応用昆虫学	6005	
		農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101	
			応用微生物学	6102	
			応用生物化学	6103	
			生物生産化学・生物有機化学	6104	
			食品科学	6105	
		林学	林学・森林工学	6201	
			林産科学・木質工学	6202	
		水産学	水産学一般	6301	
			水産化学	6302	
		農業経済学	農業経済学	6401	
		農業工学	農業土木学・農村計画学	6501	
			農業環境工学	6502	
			農業情報工学	6503	
		畜産学・獣医学	畜産学・草地学	6601	
	応用動物科学		6602		
	基礎獣医学・基礎畜産学		6603		
	境界農学	応用獣医学	6604		
		臨床獣医学	6605		
		環境農学	6701		
	医歯薬学	薬学	環境農学	6702	
			化学系薬学	6801	
			物理系薬学	6802	
			生物系薬学	6803	
			創薬化学	6804	
			環境系薬学	6805	
		基礎医学	医療系薬学	6806	
			解剖学一般(含組織学・発生学)	6901	※
			生理学一般	6902	
			環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	6903	
			薬理学一般	6904	
			医化学一般	6905	
			病態医学	6906	
			人類遺伝学	6907	
			人体病理学	6908	
			実験病理学	6909	
			寄生虫学(含衛生動物学)	6910	
			細菌学(含真菌学)	6911	
	境界医学	ウイルス学	6912		
		免疫学	6913		
		医療社会学	7001		
	社会医学	応用薬理学	7002		
		病態検査学	7003		
内科系臨床医学	衛生学	7101			
	公衆衛生学・健康科学	7102			
	法医学	7103			
	内科学一般(含心身医学)	7201	※		
	消化器内科学	7202	※		
	循環器内科学	7203	※		
	呼吸器内科学	7204			
	腎臓内科学	7205			
	神経内科学	7206			
	代謝学	7207			
	内分泌学	7208			
	血液内科学	7209			
	膠原病・アレルギー・感染症内科学	7210			
	小児科学	7211	※		
	胎児・新生児医学	7212			
外科系臨床医学	皮膚科学	7213			
	精神神経科学	7214			
	放射線科学	7215	※		
	外科学一般	7301	※		
	消化器外科学	7302	※		
	胸部外科学	7303			
	脳神経外科学	7304			
	整形外科学	7305	※		
	麻酔・蘇生学	7306			
	泌尿器科学	7307	※		
産婦人科学	7308	※			
歯学	耳鼻咽喉科学	7309			
	眼科学	7310			
	小児外科学	7311			
	形成外科学	7312			
	救急医学	7313			
	形態系基礎歯科学	7401			
	機能系基礎歯科学	7402			
	病態科学系歯科学・歯科放射線学	7403			
	保存治療系歯科学	7404			
	補綴理工系歯科学	7405			
外科系歯科学	7406	※			
看護学	矯正・小児系歯科学	7407			
	歯周治療系歯科学	7408			
	社会系歯科学	7409			
	基礎看護学	7501			
	臨床看護学	7502			
地域・老年看護学	7503				

「生物系」の備考欄において、※が付してある11細目は、基盤研究(C)相当については、キーワードにより2分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、基盤研究(C)相当で、これらの細目に応募する場合には、「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧(生物系)(24~29頁参照)により、必ず、1又は2を選択し、応募すること。

(2)平成18年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表の別表

○時限付き分科細目表

分野	内 容	細目番号	設定期間
都 市	都市には地球人口の70%以上が住んでいる。人間諸活動の空間的な場としての「都市」が、今日までどのような歴史を歩み、今後どのように変容して行くか、またどのように変容しなければならないか、そして固有の諸条件に従いながら、如何に既存都市を変容させ、各々の固有の諸条件に合った新しい都市を形成してゆくべきか、そして都市においてどのように人間諸活動を営むべきかについて、多面的な研究の展開を期待する。	9011	
「総合的な学習」のキャリア開発	平成10年に告示された学習指導要領において創設された小学校3学年から高等学校までの「総合的な学習の時間」は、各教科とは独立して設定されており、学習指導要領には教科の場合のような目標・内容等は示されていない。各学校が創意工夫をこらして企画・実践をすることが求められている。このため、既存の「教科教育学」の細目では扱いにくい面がある。したがって、独立に細目を設定することにより、学習指導要領が例示しているような、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題、児童・生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題にかかわる学習のためのキャリア開発についての実践的・臨床的研究が期待される。	9012	
食 の 安 全	近時、必ずしも安全ではない食料がグローバルに流通するようになった。国民に安寧な生活を保障するために、食に関連したリスクを管理し、評価する研究と食料の安全性についての正確かつ強力な科学的根拠を提供することが求められている。食料が農場から食卓、更には体内にまで至る流通経路・代謝過程の中で、人体に危害をもたらす可能性のある要因を科学的に解析し、その危害の予防法や排除技術の開発に資する科学的根拠を構築することを目標とした研究が望まれる。 健康被害をもたらす病原体、内因性及び外因性有害物質の検出とそれらによる危害阻止に資する技術やシステムの開発、病原生物の安全性評価、病原生物の薬剤抵抗性・感受性の評価、内因性及び外来性物質の安全性評価、安全性評価手法の開発、食品の取扱法・輸送法・貯蔵法に関する研究を行うとともに、食源性プリオン病治療予防に資するために、モデル系を利用したプリオンの異常プリオンへの転換過程の解明等を期待する。	9014	平成16年度 ～ 平成18年度
睡 眠 学	睡眠研究の進展は顕著であるが、まだ不明の領域も多く、睡眠機構や睡眠の生理学的意義の真の解明は今後の課題となっている。また、不眠、過眠等の睡眠障害に悩む多くの患者を生むと同時に睡眠障害による社会問題も発生している。そこで、本領域では睡眠を司る神経生理学的基盤の解明、睡眠制御の分子基盤の解明を推進して睡眠の基本的理解に迫る。また、睡眠異常に関する臨床的研究、薬物の睡眠への影響、薬理作用等についても研究し、睡眠障害の克服を目指す。これらの研究領域が相互に関連する細目として「睡眠学」という共通の分科細目を独立して設定することにより、睡眠に関する総合的な研究の展開を図る。	9015	
ア レ ル ギ ー	今や国民の3割近くが何らかのアレルギー疾患に悩まされていると言われ、大きな社会問題となっている。「アレルギー」のキーワードは、内科系臨床医学の「膠原病・アレルギー・感染症内科学」等にみられるが、臨床的観点からアレルギー疾患を研究するという側面が強く、必ずしも基礎免疫学的なアプローチでアレルギー病態の解析がなされているとはいえない。一方、基礎医学の細目「免疫学」は非常に広範囲な免疫研究をカバーしており、アレルギー研究の採択は非常に少ない。このような現状を鑑みて、臨床アレルギー学、基礎免疫学の枠を越えて、薬学、獣医学、生物学など広い分野の研究者の緊密な連携を促し、アレルギーの病態の解明を目指す。	9017	
廃棄物システム	廃棄物処理・循環システムは、人間の営みに不可欠であり、法システム、社会システム、人間の行動様式等の分析等の人文社会系研究分野と、技術的システム開発等の理工系・生物系研究分野が関わる研究課題である。例えば、廃棄物問題の解決には技術的制御と経済的制御に加え、行動科学や社会心理学などからのアプローチが不可欠である。分野に分かれた個別の研究ではなく、異なる分野の研究者が有機的に結びついた、連携・横断型の総合的な取り組みにより、実社会に適用可能な成果を期待する。	9018	
社会開発と文化	発展途上国における開発の現場は、過去20年間に大きな変貌を遂げた。経済成長、治安維持等を第一義とする現地自生的な社会開発の理念は後退し、国際協調に基づき、現地の状況に即応した開発モデルとその実践が現在試みられている。この傾向は、武力紛争や大災害後の緊急支援活動(＝迅速性・柔軟性)、国際的経済協調を背景とする地域開発計画(＝グローバル性)、ジェンダーや持続的開発に配慮した地域住民志向の小規模社会開発(＝文化的感受性)という3つの領域でとりわけて顕著である。 欧米ではこの分野に関する応用開発人類学の強い伝統があるのに対し、我が国の研究は、先駆的で萌芽的な諸研究がさまざまな分野で生まれているとはいえ、いまだ端緒にすぎない。開発および開発に対する国際協力の社会・文化的側面の研究、開発に伴う地域伝統・危機言語・少数言語の保護と変容に関する研究、「社会正義」など開発の価値と倫理に関する研究、国際協力における文化人類学の実践的成果利用に関する研究などの研究を奨励し、交流と統合を促進することが望まれる。	9019	平成17年度 ～
人 材 育 成 と 技 術 者 倫 理	科学技術の分野に参入する若い優秀な人材を確保し、独創的な技術を創出する人材の育成が重要な課題となっている。また、科学技術の高度な発展により、従来は考えられなかったような事故が頻発するとともに、技術者倫理の未確立や技術者倫理教育の未浸透等を原因として、技術者倫理に反するような行為が目立つようになり、技術者・技能者の高度な倫理観の確立が必要になっている。すなわち、国民の間で拡がっている技術の安全に関しての危惧の念を払拭するための抜本的方策が必要である。 国際的には技術者資格の取得・更新には継続教育が必須条件とされ、中でも技術者倫理の重要性が認識されており、技術者・技能者の能力開発とその方法、継続教育(CPD)の方法、事故および技術的失敗例の分析とその防止策、技術者倫理に関する事例分析と教育、技術・技能および伝統意識の継承などの研究を進める。	9020	平成18年度

分野	内 容	細目番号	設定期間
極限環境生物学	<p>極限環境、すなわち超高温・超低温、超高压、強酸・強アルカリ、高塩濃度、乾燥、強γ線照射下など、極めて特殊な条件下でも生存し増殖する生物(極限環境生物)が多数存在することが知られている。約38億年前に誕生した原始生命はアーケア・ユーカリアの起源となる生物とバクテリアの起源となる生物に分かれ、独立に進化した。特に好熱性アーケア・ユーカリアの起源に相当する微生物が、地球の様々な極限環境に適応しながら生存圏を広げていき、アーケアとなり、また一方で好気呼吸機能を獲得したバクテリアの共生を受け原始真核生物(ユーカリア)へと進化した可能性が高い。極限環境下の生命誕生、真核生物への進化、および極限環境に対する適応戦略を、細胞生物学、分子生物学、生態学、生理学等の様々な視点から研究することによって、生物の進化や環境適応機構といった生物学における重要課題に対する知見が蓄積できる。さらに、当分野の研究によって得られる知見は、極限生物が生成する種々の酵素をはじめバイオテクノロジーの様々な分野で応用され、今後も多方面へ発展することが期待される。</p>	9021	平成17年度 ～ 平成18年度
世代間衡平性	<p>年金制度の改革(現時点で重複共存する世代間の所得移転と負担の衡平性問題)から、地球温暖化問題に対処する国際的的制度設計と合意形成問題(長期的な環境外部性のもとで限られた資源を異時点間で効率的かつ衡平に配分する問題)など、多くの重要な経済問題の核心に「世代間衡平性」という共通の重要問題が含まれている。また、雇用慣行の大きな変化に伴う現代の若者の就業困難性の問題も、「世代間衡平性」の問題を含んだものとして捉えることができる。これらの「世代間衡平性」に関する問題を含む課題、すなわち地球温暖化、世代間所得移転、社会保障制度、若者の就業困難性、異時点間資源配分等の課題は、経済学・倫理学・法哲学や社会学や環境政策学などの専門分野に共通するコアとなる課題として位置づけることが可能であり、これらの分野の理論的研究と応用的研究の双方から分野横断的な研究が展開されることを期待する。</p>	9022	
大学改革・評価	<p>大学改革・評価は焦眉の課題である。すなわち、若年層の減少や国立大学の法人化等に起因するかつてない変革期における経営・研究・教育に関わる課題について、日本固有の高等教育機関の文化・土壌の上で、自ら継続的に改善・向上していくための独自の大学改革が求められている。また、このような大学改革を進めるために大学を多面的・総合的に評価するための適正な手法の構築が必要である。</p> <p>大学改革・評価では、大学が如何に独自の経営、研究、教育の戦略を立て、大学の諸活動の改善・向上を図れるかが重要である。例えば、大学の諸活動に関する情報の効果的な収集やデータベースの構築手法、公正な大学評価のための評価指標、国際的に通用する教育の質の保証に関する研究、大学の諸活動の改善・向上のための目標設定と改善・向上につながる経営管理手法・評価方法に関する研究などが挙げられる。「科学技術政策」、「政治学」、「組織論」、「経営学」、「教育論」等の多方面からのアプローチにより大学改革の様々な切り口に考察が加えられ、大学改革・評価の一層の進展に大きく寄与する研究を期待する。</p>	9023	平成18年度 ～ 平成19年度
医療における生命倫理	<p>先端医学研究の進展により、個人情報保護法の施行や遺伝子解析研究・生命倫理に関わる指針の制定に関連して、倫理的な問題をはらむ医学研究の現状を把握することが重要である。また、再生医療・個別化医療の時代に向けて、わが国の社会一般の先端医療に対する理解度を評価し、研究者側から社会一般の遺伝情報・生命倫理に対する認識を深めるための働きかけが望まれる。従来の医学研究の研究のレベルを超え、人間の尊厳を守るために人文・社会科学も含めた学際的研究を推進し、インターネットを利用した情報提供システムの構築とプライバシー保護の両立をはかる問題、適切な法規制の実現、研究者と一般社会間の双方向議論、医療における遺伝情報・生命倫理の国際比較による今後の問題点の把握など、社会に還元される研究の発展を期待する。</p>	9024	
疼痛学	<p>「疼痛」は、人のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を低下させる大きな要因であり、鎮痛は21世紀における医療の最大課題の一つである。</p> <p>薬理学、感覚器学、神経科学などの分野で行われている「疼痛」に関する研究一例えば、疼痛形成・制御機序に関する神経科学的・生化学的・分子生物学的研究、疼痛伝達・制御機序に関する神経生理学的・病態生理学的研究、疼痛形成・伝達に及ぼす情動の影響とその機序に関する神経生理学的・臨床心理学的研究、画期的鎮痛薬の探索、新規鎮痛薬の薬効、副作用とその機序に関する基礎薬理学的、前臨床医学的、臨床医学的研究、難治性疼痛治療に関する学際的、融合的研究(ペインクリニック、臨床心理学等)、痛みの感受性を調節する遺伝要因、発生・発達・加齢や性による痛みの変化機構)等一を、「疼痛学」として総合的に推進されることを期待する。</p>	9025	
国際保健医療研究	<p>国際化社会の進展に伴い、人間の安全保障という新しい概念が世界の共通認識となりつつあり、改めて国際保健医療協力の重要性が叫ばれている。これまでODA等により診療・医療技術移転など実務上の国際医療協力におけるインフラの整備は進んでいるが、国際保健医療研究というソフト面での支援も求められてきている。新興・再興感染症や開発途上国の近代化に伴う生活習慣病の激増など、先進国にとっても重要な疾病に関する研究の重要性はますます増大している。医療人類学、国際開発学、国際関係論、地域研究等の観点から、また、新興感染症、生活習慣病における人種間の比較や特定地域での比較等のアプローチにより国際保健医療研究が推進されることを期待する。</p>	9026	

(注1) この表は、本表と併せて基盤研究(C)相当についてのみ適用されるものです。

(注2) 設定期間は公募を行う年度です。設定期間にかかわらず2～4年間の研究課題を対象とします。

別表3 「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧

総合・新領域系

この系の、「A」、「B」に2分割している26細目については、示されたキーワードにより2分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、これらの細目に応募する場合には、必ず、キーワードにより、「A」又は「B」を選択し応募すること。

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
総合領域	情報学	情報学基礎	(A)計算理論、(B)言語理論、(C)プログラム理論、(D)計算量理論、(E)アルゴリズム理論、(F)暗号系、(G)情報数理、(H)数理論理学、(J)離散構造	1001	
		ソフトウェア	(A)アルゴリズム、(B)データ構造、(C)プログラム言語、(D)コンパイラ、(E)オペレーティングシステム、(F)ソフトウェア工学、(G)ソフトウェアエージェント	1002	
		計算機システム・ネットワーク	A	〔計算機システム〕 (A)計算機アーキテクチャ、(B)ハードウェア設計、(C)設計自動化、(D)並列計算機、(E)データベースマシン、(F)情報機器	1003
			B	〔情報ネットワーク〕 (G)分散システム、(H)情報ネットワーク、(J)情報通信システム、(K)セキュアネットワーク、(L)ネットワークコンピューティング、(M)ネットワークエージェント、(N)安全性・信頼性	
		メディア情報学・データベース	A	〔データベース・メディア・情報システム〕 (A)データベース、(B)コンテンツ、(C)マルチメディア情報処理、(D)情報システム、(E)WWW、(F)モバイルシステム、(G)情報検索、(H)グラフィクス、(J)可視化情報学、(K)芸術情報	1004
			B	〔ユーザインターフェイス〕 (L)ヒューマンインターフェイス、(M)ユーザモデル、(N)グループウェア、(P)バーチャルリアリティ、(Q)ウェアラブル機器	
		知能情報学	(A)探索・論理・推論アルゴリズム、(B)学習と発見、(C)知識ベース・知識システム、(D)人工知能アーキテクチャ、(E)知能情報処理、(F)自然言語処理、(G)知識発見とデータマイニング	1005	
		知覚情報処理・知能ロボティクス	A	〔知覚情報処理〕 (A)パターン認識、(B)画像情報処理、(C)音声情報処理、(D)コンピュータビジョン、(E)情報センシング、(F)センサ融合・統合、(G)センシングデバイス・システム	1006
			B	〔知能ロボティクス〕 (H)知能ロボット、(J)行動環境認識、(K)モーションプランニング、(L)感覚行動システム、(M)自律システム、(N)デジタルヒューマンモデル、(P)アニメーション、(Q)実世界情報処理、(R)物理エージェント、(S)インテリジェントルーム	
		感性情報学・ソフトコンピューティング	A	〔感性情報学〕 (A)感性原理、(B)感性情報処理、(C)感性素材計測・評価、(D)感性官能計測・評価、(E)感性社会学、(F)感性デザイン、(G)感性データベース	1007
			B	〔ソフトコンピューティング〕 (H)ニューラルネットワーク、(J)遺伝アルゴリズム、(K)ファジイ理論、(L)カオス、(M)フラクタル、(N)複雑系、(P)確率的情報処理	
		情報図書館学・人文社会情報学	A	〔情報図書館学〕 (A)図書館学、(B)情報図書館学、(C)図書館情報システム	1008
			B	〔人文社会情報学〕 (D)文学情報システム、(E)歴史情報システム、(F)情報社会学、(G)社会情報システム、(H)法情報学、(J)法律情報システム、(K)情報経済学、(L)経営情報システム、(M)教育情報システム	
認知科学	(A)認知心理学、(B)比較認知心理学、(C)認知哲学、(D)心の理論、(E)感情とその計算機モデル、(F)社会認知科学、(G)脳認知科学、(H)認知言語学、(J)行為と行動の相互作用	1009			

総合・新領域系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
(総合領域)	(情報学)	統計科学	(A)調査・実験計画、(B)多変量解析、(C)時系列解析、(D)分類・パタン認識、(E)統計的推測、(F)計算機集約的統計、(G)統計的予測・制御、(H)モデル選択、(J)工業統計、(K)医薬生物統計、(L)行動計量分析、(M)数理ファイナンス、(N)データマイニング、(P)空間・環境統計、(Q)統計システム、(R)統計教育	1010	
		生体生命情報学	A	〔生物情報科学〕 (A)バイオインフォマティクス、(B)ゲノム情報処理、(C)プロテオーム情報処理、(D)コンピュータシミュレーション、(E)システム生物学	1011
	B		〔生命体システム情報学〕 (F)生体情報、(G)ニューロインフォマティクス、(H)脳型情報処理、(J)人工生命システム、(K)生命分子計算、(L)DNAコンピュータ		
	神経科学	神経科学一般		(A)分子・細胞神経科学、(B)発生・発達・再生神経科学、(C)神経情報処理、(D)認知神経科学、(E)神経内分泌学、(F)行動神経科学、(G)非侵襲的脳活動計測、(H)計算論的神経科学、(J)神経心理学、(K)言語神経科学	1101
		神経解剖学・神経病理学	A	〔神経解剖学〕 (A)神経伝導学、(B)神経回路網、(C)神経組織学、(D)分子神経生物学、(E)神経微細形態学、(F)神経組織細胞化学、(G)神経発生・分化・異常、(H)神経再生・神経可塑性、(J)神経実験形態学、(K)脳画像解剖学	1102
			B	〔神経病理学〕 (L)神経細胞病理学、(M)分子神経病理学、(N)神経変性疾患、(P)脳発達障害、(Q)老化性痴呆疾患、(R)脳循環障害、(S)脳代謝性疾患、(T)中毒性疾患、(U)脳腫瘍、(V)脊髄疾患、(W)筋・末梢神経疾患	
		神経化学・神経薬理学		(A)分子・細胞・神経生物学、(B)神経系の発達と老化、(C)神経伝達物質と受容体、(D)細胞内情報伝達、(E)精神・神経疾患の病態と治療、(F)神経損傷の再生・修復、(G)神経機能の可塑性、(H)中枢・末梢神経薬理学	1103
		神経・筋肉生理学	A	〔神経生理学〕 (A)ニューロン・シナプス機能、(B)感覚系神経生理学、(C)運動系神経生理学、(D)自律神経生理学、(E)高次神経機能	1104
	B		〔筋肉生理学〕 (F)骨格筋生理学、(G)心筋生理学、(H)平滑筋生理学		
	実験動物学	実験動物学		(A)環境・施設、(B)感染症、(C)凍結保存、(D)安全性、(E)病態モデル、(F)育種遺伝、(G)発生工学、(H)動物実験倫理、(J)動物実験技術	1201
	人間医工学	医用生体工学・生体材料学	A	〔医用生体工学〕 (A)医用・生体画像、(B)生体システム、(C)生体情報・計測、(D)バイオメカニクス、(E)人工臓器工学、(F)生体物性、(G)生体制御、(H)医用光・熱工学、(J)医用マイクロ・ナノマシン、(K)フィジオーム	1301
			B	〔生体材料学〕 (L)医用材料、(M)歯用材料、(N)生体機能材料、(P)細胞・組織工学、(Q)生体適合材料、(R)インテリジェント材料、(S)バイオコンジュケイト、(T)再生医工学材料、(U)薬物伝達システム	
		医用システム		(A)超音波医科学、(B)検査・診断システム、(C)低侵襲治療システム、(D)遠隔治療システム、(E)臓器保存・治療システム、(F)医療情報システム、(G)コンピュータ外科学、(H)医用ロボット	1302
		リハビリテーション科学・福祉工学	A	〔リハビリテーション科学〕 (A)リハビリテーション医学、(B)障害学、(C)運動療法学、(D)物理療法学、(E)作業療法学、(F)言語聴覚療法学、(G)医療社会福祉学、(H)人工感覚器	1303
	B		〔福祉工学〕 (J)健康・福祉工学、(K)生活支援技術、(L)介護支援技術、(M)社会参加、(N)バリアフリー		

総合・新領域系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
(総合領域)	健康・スポーツ科学	身体教育学	A	〔身体の仕組みと発達メカニズム〕 (A)教育生理学、(B)身体システム学、(C)生体情報解析、(D)脳高次機能学、(E)身体発育発達学、(F)感覚と運動発達学	1401
			B	〔心身の教育と文化〕 (G)感性の教育、(H)身体環境論、(J)運動指導論、(K)体育科教育、(L)フィットネス、(M)身体運動文化論、(N)身体性哲学、(P)死生観の教育、(Q)身体心理学、(R)情動の科学、(S)野外教育、(T)舞踏教育、(U)女子教育、(V)成年・老年期の体育、(W)武道論、(X)運動適応生命学	
		スポーツ科学	A	〔スポーツ科学〕 (A)スポーツ哲学、(B)スポーツ史、(C)スポーツ心理学、(D)スポーツ経営学、(E)スポーツ教育学、(F)トレーニング科学、(G)スポーツ工学とバイオメカニクス、(H)コーチング・トレーニング、(J)スポーツ・タレント、(K)障害者スポーツ、(L)スポーツ社会学、(M)スポーツ環境学、(N)スポーツ文化人類学	1402
			B	〔スポーツ医学〕 (P)スポーツ生理学、(Q)スポーツ生化学、(R)スポーツ栄養学、(S)エネルギー代謝と活性酸素、(T)運動とトレーニングの分子機構、(U)スポーツ障害、(V)ドーピング	
		応用健康科学	A	〔健康教育〕 (A)健康教育、(B)ヘルスプロモーション、(C)安全推進・安全教育、(D)保健科教育、(E)ストレスマネジメント、(F)喫煙・薬物乱用防止教育	1403
			B	〔健康推進活動〕 (G)保健健康管理、(H)保健健康情報、(J)生活習慣病、(K)栄養指導、(L)運動処方と運動療法、(M)心身の健康、(N)加齢・老化、(P)レジャー・レクリエーション	
	生活科学	生活科学一般	A	〔家政一般、衣・住生活、家政教育〕 (A)生活情報化、(B)衣生活、(C)衣環境、(D)住生活、(E)住環境、(F)生活財、(G)生活造形、(H)家政・家庭科教育、(J)生活素材、(K)生活文化	1501
			B	〔生活経営、家庭・家族関係〕 (L)家庭経済と家庭経営、(M)消費購買活動、(N)家族関係、(P)ライフスタイル、(Q)高齢者生活、(R)介護、(S)保育と福祉	
		食生活学	A	〔食品と調理〕 (A)調理と加工、(B)食品と貯蔵、(C)食嗜好と評価、(D)食素材、(E)調理と機能性成分、(F)フードサービス、(G)食文化、(H)テクスチャー、(J)食品と咀嚼性	1502
			B	〔食生活と健康〕 (K)健康と食生活、(L)食と栄養、(M)食教育、(N)食習慣、(P)食行動、(Q)食情報、(R)特殊栄養食品、(S)食と環境、(T)食事計画、(U)家族と食生活、(V)食生活の評価、(W)フードマネージメント	
	科学教育・教育工学	科学教育	(A)自然科学教育(数学、理科、物理・化学・生物・地学、情報)、(B)実験・観察、(C)科学教育カリキュラム、(D)環境教育、(E)産業教育、(F)技術教育、(G)工学教育、(H)科学高等教育、(J)科学技術教育史、(K)科学的社会的認識、(L)科学と社会、(M)科学技術政策	1601	
		教育工学	(A)カリキュラム・教授法開発、(B)教材情報システム、(C)授業学習支援システム、(D)マルチメディアと教育、(E)分散協調教育システム、(F)遠隔教育、(G)eラーニング、(H)コンピュータ・リテラシー、(J)メディア教育、(K)ヒューマン・インターフェイス、(L)学校建築・設備	1602	
科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史	(A)科学社会学、(B)生命倫理、(C)科学技術史、(D)医学史、(E)土木技術史、(F)産業考古学、(G)科学基礎論・技術論、(H)サイエンススタディーズ	1701		
文化財科学	文化財科学	(A)年代測定、(B)古環境、(C)材質分析、(D)製作技法、(E)産地同定、(F)保存科学、(G)遺跡探査、(H)文化財、(J)動植物遺体・人骨	1801		

総合・新領域系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号		
(総合領域)	地理学	地理学	(A)土地利用・景観、(B)人間環境システム、(C)地域間関係論、(D)地域計画、(E)数理計量地理学、(F)地域区分・地誌・地理教育、(G)地理学史・方法論、(H)地理学一般、(J)地形、(K)気候、(L)水文、(M)自然地域・環境システム、(N)地図、(P)地理情報システム、(Q)リモートセンシング	1901		
複合新領域	環境学	環境動態解析	(A)環境変動、(B)物質循環、(C)環境計測、(D)環境モデル、(E)環境情報、(F)地球温暖化、(G)地球規模水循環変動、(H)極域環境監視、(J)化学海洋、(K)生物海洋	2001		
		環境影響評価・環境政策	A	〔環境影響評価〕 (A)陸圏・水圏・大気圏影響評価、(B)生態系影響評価、(C)影響評価手法、(D)健康影響評価、(E)次世代環境影響評価、(F)極域の人間活動	2002	
			B	〔環境政策〕 (G)環境理念、(H)環境経済、(J)環境マネジメント、(K)環境活動、(L)環境と社会、(M)合意形成		
		放射線・化学物質影響科学	A	〔放射線影響科学〕 (A)放射線生物影響、(B)放射線作用機構、(C)環境放射線、(D)電離放射線障害、(E)放射線疫学、(F)次世代放射線影響、(G)防護	2003	
			B	〔化学物質影響科学〕 (H)トキシコロジー、(J)人体有害物質、(K)微量化学物質汚染評価、(L)内分泌かく乱物質		
		環境技術・環境材料	A	〔環境技術〕 (A)環境保全技術、(B)環境修復技術、(C)省資源技術、(D)省エネルギー技術、(E)リサイクル技術、(F)環境負荷低減技術	2004	
			B	〔環境材料〕 (G)循環再生材料設計、(H)循環再生加工、(J)循環材料生産システム、(K)人間生活環境、(L)グリーンケミストリー		
		ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学	A	〔化学系〕 (A)ナノ構造化学、(B)クラスター・微粒子、(C)ナノ反応場、(D)単分子操作	2101
				B	〔物理系〕 (E)ナノ構造物性、(F)メゾスコピック物理、(G)ナノプローブ、(H)量子情報、(J)ナノトライボロジー	
			ナノ材料・ナノバイオサイエンス	A	〔ナノ材料〕 (A)ナノ材料創製、(B)ナノ材料解析、(C)ナノ材料評価、(D)ナノ表面界面、(E)ナノ多機能材料、(F)ナノ計測、(G)ナノ構造形成・制御	2102
B	〔ナノバイオサイエンス〕 (H)DNAデバイス、(J)ナノカプセル、(K)分子マニピュレーション、(L)タンパク質チップ、(M)1分子生理・生化学、(N)1分子生体情報学、(P)1分子科学一般、(Q)1分子ナノ計測					
マイクロ・ナノデバイス	A		〔マイクロデバイス・マイクロマシン〕 (A)MEMS、(B)マイクロファブリケーション、(C)マイクロ光デバイス、(D)マイクロ化学システム、(E)マイクロメカニクス	2103		
	B		〔ナノデバイス〕 (F)ナノデバイス造形、(G)ナノ制御、(H)分子デバイス、(J)単量子デバイス、(K)ナノマシン			
社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	A	〔社会システム工学〕 (A)社会工学、(B)社会システム、(C)政策科学、(D)開発計画、(E)経営工学、(F)経営システム、(G)OR、(H)品質管理、(J)インダストリアルエンジニアリング、(K)モデリング、(L)ロジスティクス、(M)マーケティング、(N)ファイナンス	2201		
		B	〔安全システム〕 (P)安全システム、(Q)安全工学、(R)危機管理、(S)都市・社会防災、(T)火災・事故、(U)安全情報・環境整備、(V)社会の防災力(避難、パニック、情報伝達、ハザードマップ)			

総合・新領域系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号
〔複合新領域〕	(社会・安全システム科学)	自然災害科学	A 〔地震・火山防災〕 (A)地震動、(B)液状化、(C)活断層、(D)津波、(E)火山噴火、(F)火山噴出物・土石流、(G)地震災害、(H)火山災害、(J)被害予想・分析・対策、(K)建造物防災	2202
			B 〔自然災害〕 (L)気象災害、(M)水災害、(N)地盤災害、(P)土砂流、(Q)湯水、(R)雪氷災害、(S)自然災害予測・分析・対策、(T)ライフライン防災、(U)地域防災計画・政策、(V)復旧・復興工学、(W)災害リスク評価	
	ゲノム科学	基礎ゲノム科学	A 〔基礎ゲノム生物学〕 (A)動物ゲノム、(B)植物ゲノム、(C)微生物ゲノム、(D)オルガネラゲノム、(E)ゲノム多様性、(F)ゲノム構造、(G)ゲノム発現、(H)ゲノム進化・再編、(J)ゲノム機能、(K)システムゲノム、(L)ゲノムネットワーク、(M)ゲノム調節	2301
			B 〔基礎ゲノム情報科学〕 (N)バイオインフォマティクス	
		応用ゲノム科学	A 〔応用ゲノム生物学〕 (A)産業動物ゲノム、(B)産業植物ゲノム、(C)産業微生物ゲノム、(D)ゲノム資源、(E)機能ゲノミクス、(F)ゲノム工学、(G)染色体工学、(H)オルガネラ工学、(J)構造ゲノミクス、(K)プロテオーム、(L)プロファイリング、(M)翻訳後修飾、(N)プロテオーム構造機能解析	2302
			B 〔応用ゲノム情報科学〕 (P)ゲノムデータベース、(Q)バイオインフォマティクス、(R)機能予測、(S)分子設計、(T)ゲノム創薬	
	生物分子科学	生物分子科学	(A)天然物有機化学、(B)二次代謝産物、(C)生物活性物質、(D)生体高分子、(E)化学修飾、(F)生体機能関連物質、(G)活性発現の分子機構、(H)構造活性相関、(J)生合成、(K)生物活性分子の設計・合成、(L)コンビナトリアル化学、(M)機器分析、(N)化学生態学、(P)プロテオミクス	2401
	資源保全学	資源保全学	A 〔生物保全学〕 (A)保全生物、(B)生物多様性保全、(C)系統生物保全、(D)生物遺伝子資源保全、(E)細胞保全、(F)生体組織保全、(G)微生物保全、(H)種子保全、(J)配偶子保全	2501
			B 〔物質保全学〕 (K)特殊化学物質保全、(L)特殊薬品保全、(M)環境標準物質保全、(N)純粋金属保全	
	地域研究	地域研究	(A)ヨーロッパ、(B)南北アメリカ、(C)東アジア、(D)東南アジア、(E)南アジア、(F)中央アジア、(G)西アジア、(H)アフリカ(含アフリカ史)、(J)オセアニア(含オセアニア史)、(K)世界、(L)地域間比較研究、(M)地域協力、(N)空間経済学	2601
ジェンダー	ジェンダー	(A)ジェンダー、(B)性別役割、(C)性差、(D)女性学・男性学、(E)思想、(F)比較文化、(G)身体性、(H)表現、(J)社会政策、(K)法・政治、(L)経済・労働、(M)科学・技術、(N)人間開発、(P)人間発達、(Q)医療・生命科学	2701	

人 文 社 会 系

分 野	分 科	細 目 名	キーワード（記号）	細目番号
人文学	哲学	哲学・倫理学	(A) 哲学原論・各論、(B) 倫理学原論・各論、(C) 西洋哲学、(D) 西洋倫理学、(E) 日本哲学、(F) 日本倫理学、(G) 比較哲学	2801
		中国哲学	(A) 中国哲学、(B) 中国仏教、(C) 道教	2802
		印度哲学・仏教学	(A) 印度哲学、(B) 仏教学全般	2803
		宗教学	(A) 宗教学、(B) 宗教史、(C) 宗教社会学、(D) 宗教人類学、(E) 宗教民俗学、(F) 宗教心理学、(G) 宗教哲学、(H) 比較宗教学、(J) 宗教現象学、(K) 宗教と医療	2804
		思想史	(A) 社会思想史、(B) 日本思想史、(C) 比較思想史	2805
		美学・美術史	(A) 美学、(B) 美術史、(C) 芸術諸学	2806
	文学	日本文学	(A) 日本文学、(B) 古代文学、(C) 中世文学、(D) 近世文学、(E) 近代文学、(F) 漢文学	2901
		ヨーロッパ語系文学	(A) 英米文学、(B) 仏文学、(C) 独文学、(D) ロシア東欧文学、(E) 南欧文学、(F) ラテンアメリカ文学、(G) その他ヨーロッパ語系各国文学、(H) ヨーロッパ語系文献学、(J) 西洋古典学	2902
		各国文学・文学論	(A) 中国文学、(B) アフリカ文学、(C) 東南アジア文学、(D) その他の各国文学、(E) 文献学、(F) 文学論、(G) 比較文学	2903
	言語学	言語学	(A) 音声学、(B) 音韻論、(C) 文字論、(D) 統語論、(E) 形態論、(F) 辞書論、(G) 意味論、(H) 語用論、(J) 談話研究、(K) 社会言語学、(L) 心理言語学、(M) 言語の生物的基盤、(N) 歴史言語学、(P) 仏語学、(Q) 独語学、(R) 中国語学、(S) その他の語学	3001
		日本語学	(A) 国語学、(B) 音声、(C) 音韻、(D) 文字、(E) 文法、(F) 語彙、(G) 意味、(H) 文章、(J) 文体、(K) 方言、(L) 言語生活、(M) 日本語史	3002
		英語学	(A) 英語学、(B) 音声、(C) 音韻、(D) 文字、(E) 文法、(F) 語彙、(G) 語形成、(H) 意味、(J) 文体、(K) 英語史、(L) 英語の多様性、(M) 英語学史	3003
		日本語教育	(A) 日本語教育制度、(B) 教師論、(C) 教授法、(D) 学習理論、(E) 教材・教具論、(F) 母語教育、(G) 第二言語教育、(H) 対照言語研究、(J) コミュニケーション教育、(K) 異文化コミュニケーション、(L) 日本事情、(M) 日本語教育史	3004
		外国語教育	(A) 外国語教育制度、(B) 教育論、(C) 教育内容、(D) 教授法・学習理論、(E) 第二言語習得理論、(F) 教材・教具論、(G) 外国語教育史、(H) 異文化コミュニケーション、(J) 英語教育	3005
	史学	史学一般	(A) 世界史、(B) 文化交流史、(C) 比較歴史学、(D) 比較文明論、(E) 史料学	3101
		日本史	(A) 古代史、(B) 中世史、(C) 近世史、(D) 近・現代史	3102
		東洋史	(A) 朝鮮史、(B) 中国史、(C) 東南アジア史、(D) 南アジア史、(E) 西アジア史、(F) 内陸アジア史	3103
		西洋史	(A) 西欧史、(B) 東欧史、(C) 南欧史、(D) 北欧史、(E) 南北アメリカ史	3104
		考古学	(A) 考古学、(B) 先史学	3105
	人文地理学	人文地理学	(A) 環境適応、(B) 空間行動、(C) 立地、(D) 分布パターン、(E) 土地利用、(F) 産業配置、(G) 集落、(H) 生活様式、(J) 景観、(K) 地域性、(L) 地域区分、(M) 地域構造・地域システム、(N) 地域政策、(P) 地誌、(Q) 絵図・地図、(R) 地理情報システム	3201
		文化人類学	文化人類学・民俗学	(A) 文化人類学、(B) 民俗学、(C) 民族学、(D) 社会人類学、(E) 比較民俗学、(F) 物質文化研究、(G) 先史・歴史研究、(H) 芸能・芸術研究、(J) 宗教儀礼研究、(K) 開発研究、(L) ジェンダー研究、(M) 医療研究、(N) 人口・移住研究、(P) 少数者研究、(Q) 生活・生態研究
社会科学	法学	基礎法学	(A) 法哲学・法理学、(B) ローマ法、(C) 法制史、(D) 法社会学、(E) 比較法、(F) 外国法、(G) 法政策学、(H) 法と経済	3401
		公法学	(A) 憲法、(B) 行政法、(C) 租税法、(D) 国法学、(E) 立法学、(F) 憲法訴訟、(G) 比較憲法、(H) 憲法史、(J) 行政組織法、(K) 行政手続法、(L) 行政救済法、(M) 国際税法、(N) 裁判法	3402

人 文 社 会 系

分 野	分 科	細 目 名	キーワード（記号）	細目番号
（社会科学）	（法学）	国際法学	(A) 国際公法、(B) 国際私法、(C) 国際人権法、(D) 国際機構法、(E) 国際経済法	3403
		社会法学	(A) 労働法、(B) 経済法、(C) 社会保障法、(D) 教育法	3404
		刑事法学	(A) 刑法、(B) 刑事訴訟法、(C) 犯罪学、(D) 刑事政策、(E) 少年法	3405
		民事法学	(A) 民法、(B) 商法、(C) 民事訴訟法、(D) 法人、(E) 企業組織法、(F) 金融法、(G) 証券法、(H) 保険法、(J) 国際取引法、(K) 倒産法、(L) 紛争処理法制、(M) 民事執行法	3406
		新領域法学	(A) 環境法、(B) 医事法、(C) 情報法、(D) 知的財産法、(E) EU法、(F) 法とジェンダー、(G) 法学教育・法曹論	3407
	政治学	政治学	(A) 政治理論、(B) 政治思想史、(C) 政治史、(D) 日本政治分析、(E) 政治過程論、(F) 選挙研究、(G) 行政学、(H) 比較政治	3501
		国際関係論	(A) 国際理論、(B) 外交史・国際関係史、(C) 対外政策論、(D) 安全保障論、(E) 国際政治経済、(F) 国際レジューム論、(G) 国際統合論、(H) 国際協力論、(J) 国際交流論、(K) トランスナショナル・イシュー、(L) グローバル・イシュー	3502
	経済学	理論経済学	(A) ミクロ経済学、(B) マクロ経済学、(C) 経済理論、(D) 経済制度	3601
		経済学説・経済思想	(A) 経済学説、(B) 経済学史、(C) 経済思想、(D) 経済思想史、(E) 社会思想、(F) 社会思想史	3602
		経済統計学	(A) 統計制度、(B) 統計調査、(C) 統計史、(D) 統計学説史、(E) 人口統計、(F) 所得・資産分布、(G) 国民経済計算、(H) 計量経済学	3603
		応用経済学	(A) 国際経済学、(B) 労働経済学、(C) 産業論、(D) 産業組織論、(E) 都市経済学、(F) 環境経済学、(G) 医療経済学、(H) 地域経済学	3604
		経済政策	(A) 経済政策、(B) 経済事情、(C) 日本経済、(D) 社会保障、(E) 経済体制、(F) 経済発展、(G) 政策シミュレーション	3605
		財政学・金融論	(A) 財政学、(B) 公共経済学、(C) 金融論、(D) ファイナンス	3606
		経済史	(A) 経済史、(B) 経営史	3607
	経営学	経営学	(A) 企業経営、(B) 経営管理、(C) 事業組織、(D) 経営財務、(E) 経営情報	3701
		商学	(A) マーケティング、(B) 消費者行動、(C) 流通、(D) 商業、(E) 保険	3702
		会計学	(A) 財務会計、(B) 管理会計、(C) 会計監査、(D) 簿記、(E) 国際会計	3703
	社会学	社会学	(A) 社会学理論・学説史、(B) 社会学研究法・社会調査法・数理社会学、(C) 社会構造・変動論、(D) 社会集団・組織論、(E) 階級・階層・社会移動、(F) 家族、(G) 地域社会・村落・都市、(H) 産業・労働、(J) 文化・社会意識、(K) 社会的コミュニケーション・社会情報、(L) 性・世代、(M) 社会問題・社会運動、(N) 差別問題、(P) 環境社会学、(Q) 国際社会・エスニシティ	3801
		社会福祉学	(A) 社会福祉論、(B) 社会福祉史、(C) 高齢者福祉、(D) 障害者福祉、(E) 児童福祉、(F) 貧困問題、(G) 社会福祉援助技術、(H) ソーシャルワーク、(J) 福祉ボランティア、(K) 福祉NPO、(L) 社会福祉教育・実習、(M) 地域福祉、(N) 介護福祉、(P) 国際社会福祉、(Q) 女性福祉	3802
	心理学	社会心理学	(A) 自己過程、(B) 社会的認知・感情、(C) 態度・信念、(D) 社会的相互作用・対人関係、(E) 対人コミュニケーション、(F) 集団・リーダーシップ、(G) 集合現象、(H) 産業・組織、(J) 文化、(K) 社会問題、(L) 環境問題、(M) メディア・電子ネットワーク、(N) 人事、(P) 作業、(Q) 消費者問題	3901
		教育心理学	(A) 生涯発達、(B) 母子関係、(C) 発達障害、(D) パーソナリティ、(E) 学習過程、(F) 教授法、(G) 学級集団・経営、(H) 教育評価、(J) 教育相談、(K) カウンセリング、(L) 学生相談	3902
		臨床心理学	(A) 心理的障害、(B) 犯罪・非行、(C) 心理アセスメント、(D) 心理療法、(E) 心理学的介入、(F) 心理検査、(G) セルフコントロール、(H) 心理面接過程、(J) 事例研究、(K) セルフヘルプグループ、(L) セラピスト論、(M) 地域援助、(N) 健康開発、(P) 心理リハビリテーション、(Q) 健康心理学	3903

人 文 社 会 系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号
(社会科学)	(心理学)	実験心理学	(A)生理、(B)感覚・知覚、(C)注意・意識、(D)学習・行動分析、(E)記憶、(F)思考、(G)言語、(H)動機づけ、(J)情動、(K)行動、(L)データ解析法	3904
	教育学	教育学	(A)教育理論、(B)教育思想、(C)教育史、(D)カリキュラム論、(E)学習指導論、(F)学力論、(G)教育方法、(H)教育評価、(J)教育行政、(K)学校経営、(L)学校教育、(M)就学前教育、(N)生涯教育、(P)社会教育、(Q)家庭教育	4001
		教育社会学	(A)教育社会学、(B)教育経済学、(C)教育人類学、(D)教育政策、(E)比較教育、(F)人材開発・開発教育、(G)学校組織・学校文化、(H)教師・生徒文化、(J)青少年問題・少年非行、(K)教育問題、(L)学力問題、(M)多文化教育、(N)ジェンダーと教育、(P)教育調査法	4002
		教科教育学	(A)カリキュラム構成・開発、(B)教材開発、(C)各教科の教育(国語、算数・数学、理科、社会、地理・歴史、公民、生活、音楽、図画工作・美術工芸、家庭、技術)、(D)教科外教育(総合的学習、道徳、特別活動)、(E)専門教科の教育(工業、商業、農業、水産、看護)、(F)生活指導・生徒指導、(G)進路指導	4003
		特別支援教育	(A)特殊教育、(B)障害者教育、(C)学習困難、(D)学習障害、(E)情緒障害、(F)行動障害、(G)乳幼児虐待、(H)養育放棄、(J)子育て支援、(K)学童保育、(L)学校不適応、(M)教育相談・カウンセリング	4004

理 工 系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号
数物系科学	数学	代数学	(A)数論、(B)代数幾何、(C)群論、(D)環論、(E)代数一般	4101
		幾何学	(A)微分幾何、(B)複素多様体、(C)位相幾何、(D)複素解析幾何、(E)微分トポロジー	4102
		数学一般(含確率論・統計数学)	(A)数学基礎論、(B)確率論、(C)統計数学、(D)応用数学、(E)組合せ論、(F)情報数理、(G)離散数学、(H)数値数学、(J)数理モデル	4103
		基礎解析学	(A)複素解析、(B)実解析、(C)関数方程式、(D)関数解析、(E)確率解析、(F)代数解析	4104
		大域解析学	(A)関数方程式の大域理論、(B)変分法、(C)非線形現象、(D)多様体上の解析、(E)力学系、(F)作用素環、(G)可積分系	4105
	天文学	天文学	(A)光学赤外線天文学、(B)電波天文学、(C)太陽物理学、(D)位置天文学、(E)理論天文学、(F)X線γ線天文学	4201
	物理学	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	(A)素粒子物理、(B)核物理、(C)宇宙線、(D)加速器、(E)粒子測定技術、(F)宇宙物理、(G)相対論・重力波	4301
		物性I	(A)半導体、(B)メゾスコピック系・局在、(C)光物性、(D)表面・界面、(E)結晶成長、(F)誘電体、(G)格子欠陥、(H)X線・粒子線、(J)フォノン物性	4302
		物性II	(A)磁性、(B)磁気共鳴、(C)強相関係、(D)高温超伝導、(E)金属、(F)超低温・超伝導、(G)量子液体・固体、(H)分子性固体・有機導体	4303
		数理物理・物性基礎	(A)統計物理学、(B)物性基礎論、(C)数理物理、(D)可積分系、(E)非平衡・非線形物理学、(F)応用数学、(G)力学、(H)流体物理、(J)不規則系、(K)計算物理学	4304
		原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ	(A)原子・分子、(B)量子エレクトロニクス、(C)量子情報、(D)放射線、(E)プラズマ、(F)ビーム物理、(G)放電	4305
		生物物理・化学物理	(A)高分子・液晶、(B)化学物理、(C)生物物理、(D)ソフトマターの物理	4306

理 工 系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号
(数物系科学)	地球惑星科学	固体地球惑星物理学	(A)地震現象、(B)火山現象、(C)地殻変動・海底変動、(D)地磁気、(E)重力、(F)観測手法、(G)テクトニクス、(H)内部構造、(J)内部変動・物性、(K)月・衛星・小惑星、(L)惑星形成・進化、(M)地震災害・予測	4401
		気象・海洋物理・陸水学	(A)気象、(B)海洋物理、(C)陸域水循環・物質循環、(D)水収支、(E)地球環境システム、(F)地球流体力学、(G)気候、(H)惑星大気	4402
		超高層物理学	(A)太陽地球システム、(B)惑星間空間、(C)地球惑星磁気圏、(D)地球惑星電離圏、(E)地球惑星上層大気、(F)宇宙プラズマ、(G)地磁気変動、(H)プラズマ波動	4403
		地質学	(A)地層、(B)地殻、(C)環境地質、(D)テクトニクス、(E)地質時代、(F)地球史、(G)応用地質、(H)惑星地質学、(J)第四紀学	4404
		層位・古生物学	(A)層序、(B)古環境、(C)化石、(D)系統・進化・多様性、(E)古生態、(F)古生物地理、(G)機能・形態、(H)古海洋	4405
		岩石・鉱物・鉱床学	(A)地球惑星物質、(B)地球惑星進化、(C)地殻・マントル・核、(D)マグマ、(E)天然・人工結晶、(F)元素分別濃集過程、(G)鉱物資源、(H)メタロジェニー	4406
	地球宇宙化学	(A)元素分布、(B)同位体、(C)物質循環、(D)地殻・マントル化学、(E)隕石化学、(F)大気圏・水圏・生物圏化学	4407	
プラズマ科学	プラズマ科学	(A)プラズマ基礎、(B)プラズマ応用、(C)プラズマ計測、(D)プラズマ物理、(E)放電、(F)反応性プラズマ、(G)宇宙・天体プラズマ、(H)核燃焼プラズマ、(J)プラズマ化学	4501	
化学	基礎化学	物理化学	(A)分子構造、(B)結晶構造、(C)電子状態、(D)分子動力学、(E)化学反応、(F)溶液、(G)分子分光、(H)励起分子素過程、(J)電気化学、(K)放射線化学、(L)電子・エネルギー移動、(M)表面・界面	4601
		有機化学	(A)構造有機化学、(B)反応有機化学、(C)合成有機化学、(D)有機元素化学、(E)有機光化学、(F)物理有機化学、(G)理論有機化学	4602
		無機化学	(A)金属錯体化学、(B)有機金属化学、(C)無機固体化学、(D)溶液化学、(E)核・放射化学、(F)クラスター、(G)低次元化合物、(H)層間化合物、(J)元素集積体、(K)超分子	4603
	複合化学	分析化学	(A)試料処理、(B)化学分析、(C)生物学的分析、(D)核利用分析、(E)分離分析、(F)化学センサー、(G)チップ分析、(H)クロマトグラフィー、(J)機器分析、(K)表面分析、(L)組織解析、(M)状態分析、(N)環境分析、(P)生体分析、(Q)分析値評価	4701
		合成化学	(A)選択的合成・反応、(B)有機金属触媒、(C)ファインケミカルズ、(D)不斉合成、(E)触媒設計・反応、(F)環境調和型反応、(G)反応場、(H)自動合成、(J)生物的合成手法、(K)コンビナトリアル手法	4702
		高分子化学	(A)高分子合成、(B)重合、(C)高分子反応・分解、(D)不斉重合、(E)重合触媒、(F)高分子構造、(G)高分子物性、(H)機能性高分子化学、(J)生体関連高分子、(K)高分子薄膜・表面、(L)高分子錯体、(M)環境関連高分子	4703
		機能物質化学	(A)光物性、(B)電気・磁気的性質、(C)分子素子、(D)センサー、(E)分子認識、(F)超分子、(G)液晶・結晶、(H)膜・集合体、(J)表面・界面、(K)電気分解、(L)機能触媒	4704
		環境関連化学	(A)グリーンケミストリー、(B)リサイクル化学、(C)低環境負荷物質、(D)生分解性物質、(E)高原子効率反応、(F)高機能触媒、(G)微量環境物質評価、(H)反応媒体、(J)安全化学、(K)マイクロ化学手法	4705
		生体関連化学	(A)核酸・蛋白質・糖化学、(B)酵素化学、(C)受容体化学、(D)生体認識・機能化学、(E)生体系類似化学、(F)ポストゲノム創薬、(G)生体機能材料、(H)生物有機化学、(J)生物無機化学、(K)生体関連高分子化学、(L)天然物有機化学、(M)バイオテクノロジー	4706
	材料化学	機能材料・デバイス	(A)液晶材料・素子、(B)有機EL素子、(C)有機半導体デバイス、(D)光学材料・素子、(E)有機電子材料・素子、(F)導電機能素子、(G)電気・磁気デバイス、(H)電池、(J)コンデンサー	4801

理 工 系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
化学	(材料化学)	有機工業材料	(A)界面活性剤、(B)染料・顔料、(C)色材、(D)選択的反応、(E)新規官能基、(F)レジスト	4802	
		無機工業材料	(A)結晶・多結晶材料、(B)ガラス、(C)セメント、(D)微粉体、(E)層状・層間化合物、(F)イオン交換体、(G)無機合成、(H)光触媒、(J)電気化学、(K)多孔体、(L)焼結体、(M)ハイブリッド材料	4803	
		高分子・繊維材料	(A)高分子材料物性、(B)高分子材料合成、(C)繊維材料、(D)ゴム材料、(E)ゲル、(F)高分子機能材料、(G)天然・生体高分子材料、(H)ブレンド・複合材料、(J)高分子・繊維加工、(K)高分子計算・設計	4804	
工学	応用物理学・工学基礎	応用物性・結晶工学	(A)金属、(B)半導体、(C)磁性体、(D)超伝導体、(E)非晶質、(F)結晶成長、(G)エピタキシャル成長、(H)結晶評価、(J)微粒子、(K)有機分子、(L)液晶、(M)バイオエレクトロニクス、(N)新機能材料、(P)ヘテロ構造、(Q)光物性、(R)誘電体、(S)セラミックス	4901	
		薄膜・表面界面物性	(A)薄膜、(B)表面、(C)界面、(D)プラズマプロセス、(E)真空、(F)ビーム応用、(G)走査プローブ顕微鏡、(H)電子顕微鏡	4902	
		応用光学・量子光学	(A)光、(B)光学素子・装置・材料、(C)画像・光情報処理、(D)視覚工学、(E)レーザー、(F)光エレクトロニクス、(G)微小光学、(H)光計測、(J)光記録、(K)光プロセッシング、(L)光制御	4903	
		応用物理学一般	(A)力、(B)熱、(C)音、(D)振動、(E)電磁気、(F)物理計測・制御、(G)標準、(H)トライボロジー、(J)センサー、(K)マイクロマシン、(L)エネルギー変換、(M)プラズマ、(N)放射線、(P)加速器、(Q)原子炉	4904	
		工学基礎	(A)数理工学(数理解析・計画・設計)、(B)物理数学、(C)計算力学、(D)シミュレーション工学	4905	
	機械工学	機械材料・材料力学	機械材料・材料力学	(A)材料設計・プロセス・物性・評価、(B)連続体力学、(C)構造力学、(D)損傷力学、(E)破壊、(F)疲労、(G)環境強度、(H)信頼性設計、(J)生体力学	5001
			生産工学・加工学	(A)生産モデリング、(B)生産システム、(C)生産管理、(D)工程設計、(E)工作機械、(F)成形加工、(G)切削・研削加工、(H)特殊加工、(J)超精密加工、(K)ナノ・マイクロ加工、(L)精密位置決め・加工計測	5002
			設計工学・機械機能要素・トライボロジー	(A)設計工学、(B)形状モデリング、(C)CAD、(D)創造工学、(E)機構学、(F)機械要素、(G)機能要素、(H)故障診断、(J)安全・安心設計、(K)ライフサイクル設計、(L)トライボロジー	5003
			流体工学	(A)数値流体力学、(B)圧縮・非圧縮流、(C)乱流、(D)混相流、(E)反応流、(F)非ニュートン流、(G)分子流体力学、(H)バイオフィールド力学、(J)環境流体力学、(K)音響、(L)流体機械、(M)油圧機器	5004
			熱工学	(A)熱力学、(B)熱物性、(C)熱・物質移動、(D)燃焼、(E)温熱制御、(F)熱機関、(G)冷凍・空調、(H)エネルギー利用	5005
			機械力学・制御	(A)運動力学、(B)動的設計、(C)振動学、(D)振動解析・試験、(E)制御機器、(F)運動制御、(G)振動制御、(H)機械計測、(J)耐震・免震設計、(K)交通機械制御、(L)音響情報・制御、(M)音響エネルギー	5006
			知能機械学・機械システム	(A)ロボティクス、(B)メカトロニクス、(C)マイクロメカトロニクス、(D)バイオメカニクス、(E)ソフトメカニクス、(F)精密・情報機器、(G)精密機械システム、(H)人間機械システム、(J)情報システム	5007
	電気電子工学	電力工学・電気機器工学	電力工学・電気機器工学	(A)電気エネルギー工学(発生・変換・貯蔵、省エネルギーなど)、(B)電力系統工学、(C)電気機器、(D)パワーエレクトロニクス、(E)電気有効利用、(F)電気・電磁環境、(G)照明	5101
			電子・電気材料工学	(A)電気・電子材料(半導体、誘電体、磁性体、超誘電体、有機物、絶縁体、超伝導体など)、(B)薄膜・量子構造、(C)厚膜、(D)作成・評価技術	5102
			電子デバイス・電子機器	(A)電子デバイス・集積回路、(B)回路設計・CAD、(C)光デバイス・集積化、(D)マイクロ波・ミリ波、(E)波動利用工学、(F)バイオデバイス、(G)記憶・記録、(H)表示、(J)センシング、(K)微細プロセス技術、(L)インターコネクト・パッケージのシステム化・応用	5103

理 工 系

分野	分科	細目名	キーワード（記号）	細目番号
(工学)	(電気電子工学)	通信・ネットワーク工学	(A) 電子回路網、(B) 非線形理論・回路、(C) 情報理論、(D) 信号処理、(E) 通信方式（無線、有線、衛星、光、移動）、(F) 変復調、(G) 符号化、(H) プロトコル、(J) アンテナ、(K) 中継・交換、(L) ネットワーク・LAN、(M) マルチメディア、(N) 暗号・セキュリティ	5104
		システム工学	(A) システム情報（知識）処理、(B) 社会システム工学、(C) 経営システム工学、(D) 環境システム工学、(E) 生産システム工学、(F) バイオシステム工学	5105
		計測工学	(A) 計測理論、(B) センシングデバイス、(C) 計測機器、(D) 計測システム、(E) 信号処理、(F) センシング情報処理	5106
		制御工学	(A) 制御理論、(B) システム理論、(C) 知識型制御、(D) 制御機器、(E) 制御システム、(F) 複雑系	5107
土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント	土木材料・施工・建設マネジメント	(A) 木材、(B) 鋼材、(C) コンクリート、(D) 瀝青材料、(E) 複合材料、(F) 施工管理、(G) プロジェクトマネジメント、(H) 社会基盤マネジメント、(J) 建設経営、(K) 建設CALS、(L) 公共調達	5201
		構造工学・地震工学・維持管理工学	(A) 設計論、(B) 鋼構造、(C) コンクリート構造、(D) 複合構造、(E) 荷重、(F) 振動、(G) 風工学、(H) 計測、(J) 応用力学、(K) 地震動、(L) 耐震構造、(M) 地震防災、(N) 維持管理工学	5202
		地盤工学	(A) 土質力学、(B) 岩盤力学、(C) 動土質、(D) 基礎、(E) 土構造物、(F) トンネル、(G) 斜面、(H) 施行、(J) 地盤環境	5203
		水工水理学	(A) 水理学、(B) 流体力学、(C) 水文学、(D) 河川、(E) 海岸、(F) 海洋	5204
		交通工学・国土計画	(A) 土木計画学、(B) 地域都市計画、(C) 資源・環境・防災計画、(D) 交通現象分析、(E) 交通計画、(F) 交通工学、(G) 道路工学、(H) 鉄道工学、(J) 測量、(K) リモートセンシング、(L) 土木史、(M) 景観、(N) 土木デザイン	5205
		土木環境システム	(A) 水資源、(B) エネルギー施設、(C) 都市環境システム、(D) 上下水道、(E) 廃棄物管理、(F) 水質	5206
建築学	建築構造・材料	建築構造・材料	(A) 荷重論、(B) 構造解析、(C) 構造設計、(D) コンクリート構造、(E) 鋼構造、(F) 基礎構造、(G) 構造材料、(H) 建築工法、(J) 保全技術、(K) 地震防災、(L) 構造制御	5301
		建築環境・設備	(A) 音・振動環境、(B) 光環境、(C) 熱環境、(D) 空気環境、(E) 環境設備計画、(F) 空調、(G) 給排水、(H) 火災工学、(J) 都市環境、(K) 環境設計	5302
		都市計画・建築計画	(A) 計画論、(B) 設計論、(C) 住宅論、(D) 都市・地域計画、(E) 行政・制度、(F) 建築経済、(G) 防災計画、(H) 生産管理、(J) 景観計画	5303
		建築史・意匠	(A) 建築史、(B) 都市史、(C) 環境形成史、(D) 建築論、(E) 意匠、(F) 様式、(G) 景観	5304
材料工学	金属物性	金属物性	(A) 電子・磁気物性、(B) 半導体物性、(C) 熱物性、(D) 光物性、(E) 力学物性、(F) 超伝導、(G) 薄膜物性、(H) ナノ物性、(J) 計算材料物性、(K) 表面・界面・粒界物性、(L) 微粒子・クラスター、(M) 準結晶、(N) 照射損傷、(P) 原子・電子構造、(Q) 格子欠陥、(R) 拡散・相変態・状態図	5401
		無機材料・物性	(A) 結晶構造・組織制御、(B) 力学・電子・電磁・光・熱物性、(C) 表面・界面物性、(D) 高温特性、(E) 粒界特性、(F) 機能性セラミックス、(G) 機能性ガラス、(H) 構造用セラミックス、(J) カーボン材料、(K) 誘電体	5402
		複合材料・物性	(A) 有機・無機繊維、(B) マトリックス材、(C) 複合効果、(D) 分散強化、(E) 長繊維強化、(F) FRM、(G) FRP、(H) FRC、(J) 傾斜機能、(K) 複合粒子、(L) 複合延性、(M) 複合破壊、(N) 複合変形応力、(P) 界面破壊、(Q) 反応焼結	5403
		構造・機能材料	(A) 強度・靱性・破壊・疲労・クリープ・応力腐食割れ・超塑性・磨耗、(B) ナノ構造、(C) 磁性材料、(D) 電子・情報材料、(E) 水素吸蔵材料、(F) 燃料電池材料、(G) 熱・エネルギー材料、(H) センサー材料、(J) 極低温材料、(K) 耐震・耐環境材料、(L) 生体・福祉材料、(M) 高温材料、(N) アモルファス材料、(P) インテリジェント材料、(Q) 新機能材料	5404

理 工 系

分野	分科	細目名	キーワード（記号）	細目番号
(工学)	(材料工学)	材料加工・処理	(A)表面・界面制御、(B)腐食防食、(C)塑性加工、(D)粉末冶金、(E)熱処理、(F)接合、(G)結晶制御、(H)ナノプロセス、(J)微細加工、(K)プラズマ処理・レーザー加工、(L)溶射・コーティング、(M)メッキ、(N)非破壊検査、(P)薄膜プロセス、(Q)非平衡プロセス、(R)メカニカルアロイング、(S)精密造形プロセス、(T)電極触媒、(U)補修・延命処理	5405
		金属生産工学	(A)反応・分離、(B)素材精製、(C)融体・凝固、(D)鋳造、(E)結晶育成、(F)組織制御、(G)高純度化、(H)各種製造プロセス、(J)省エネプロセス、(K)極限環境場プロセス、(L)エコマテリアル化、(M)資源分離、(N)廃棄物処理、(P)材料循環プロセス、(Q)リサイクル、(R)安全材料工学	5406
	プロセス工学	化工物性・移動操作・単位操作	(A)平衡・輸送物性、(B)流動・伝熱・物質移動操作、(C)蒸留、(D)抽出、(E)吸収、(F)吸着、(G)イオン交換、(H)膜分離、(J)異相分離、(K)超高度分離、(L)攪拌・混合操作、(M)粉粒体操作、(N)晶析操作、(P)薄膜・微粒子形成操作、(Q)高分子成形加工操作	5501
		反応工学・プロセスシステム	(A)気・液・固・超臨界流体反応操作、(B)新規反応場、(C)反応速度、(D)反応機構、(E)反応装置、(F)材料合成プロセス、(G)重合プロセス、(H)計測、(J)センサー、(K)プロセス制御、(L)プロセスシステム設計、(M)プロセス情報処理、(N)プロセス運転・設備管理	5502
		触媒・資源化学プロセス	(A)触媒反応、(B)触媒調製化学、(C)触媒機能解析、(D)エネルギー変換プロセス、(E)化石燃料有効利用技術、(F)資源・エネルギー有効利用技術、(G)省資源・省エネルギー技術、(H)燃焼技術	5503
		生物機能・バイオプロセス	(A)生体触媒工学、(B)生物機能工学、(C)食品工学、(D)医用化学工学、(E)バイオ生産プロセス、(F)バイオリアクター、(G)バイオセンサー、(H)バイオセパレーション	5504
総合工学		航空宇宙工学	(A)航空宇宙流体・構造・航法・制御・推進、(B)航空宇宙システム・設計、(C)宇宙利用	5601
		船舶海洋工学	(A)船舶性能・構造・建造・艤装・計画・設計、(B)船用機関・燃料、(C)船舶生産システム、(D)海上輸送システム、(E)海洋流体工学、(F)構造力学、(G)海洋環境、(H)海洋資源、(J)海洋探査・機器、(K)海中・海底工学、(L)極地工学	5602
		地球・資源システム工学	(A)応用地質、(B)地殻工学、(C)リモートセンシング、(D)地球計測、(E)地球システム、(F)資源探査、(G)資源開発、(H)資源評価、(J)資源処理、(K)廃棄物地下保存・処分、(L)地層汚染修復、(M)深地層開発、(N)素材資源、(P)自然エネルギー、(Q)資源経済	5603
		リサイクル工学	(A)廃棄物発生抑制、(B)再使用、(C)再生利用、(D)再資源化、(E)有価物回収、(F)固固分離、(G)素材クリーニング、(H)適正処分の技術とシステム、(J)製品LCA、(K)環境配慮設計、(L)グリーンプロダクション、(M)ゼロエミッション	5604
		核融合学	(A)磁場核融合、(B)慣性核融合、(C)プラズマ閉込め・安定性、(D)低放射化材料、(E)燃料・ブランケット、(F)電磁・マグネット、(G)核融合システム工学、(H)安全・生物影響	5605
		原子力学	(A)放射線理工学、(B)加速器・ビーム工学、(C)同位体理工学、(D)炉物理・核データ、(E)燃料・材料・化学、(F)熱流動・構造、(G)原子力計測、(H)安全・リスク・信頼性、(J)燃料サイクル、(K)バックエンド、(L)新型原子炉、(M)保健物理・環境安全、(N)原子力社会環境	5606
		エネルギー学	(A)エネルギー生成・変換、(B)エネルギー輸送・貯蔵、(C)エネルギー節約・効率利用、(D)エネルギーシステム、(E)環境調和	5607

生物系

この系の「1」、「2」に2分割している以下の11細目については、**基盤研究(C)相当**についてのみ、示されたキーワードにより2分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、**基盤研究(C)相当**で、これらの細目に応募する場合には、**必ず、キーワードにより、「1」又は「2」を選択し応募すること。**

- ①「解剖学一般(含組織学・発生学)(6901)」、②「消化器内科学(7202)」、③「循環器内科学(7203)」、
 ④「小児科学(7211)」、⑤「放射線科学(7215)」、⑥「外科学一般(7301)」、⑦「消化器外科学(7302)」、
 ⑧「整形外科(7305)」、⑨「泌尿器科学(7307)」、⑩「産婦人科学(7308)」、⑪「外科系歯学(7406)」

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
生物学	基礎生物学	遺伝・ゲノム動態	(A)分子遺伝、(B)細胞遺伝、(C)集団遺伝、(D)進化遺伝、(E)人類遺伝、(F)遺伝子多様性、(G)ゲノム構築・機能・再編・発現・維持、(H)発生遺伝、(J)行動遺伝	5701	
		生態・環境	(A)個体群、(B)生物社会、(C)種間関係、(D)群集、(E)生態系、(F)進化生態、(G)行動生態、(H)自然環境、(J)生理生態、(K)分子生態	5702	
		植物生理・分子	(A)色素体機能(光合成など)、(B)成長生理、(C)オルガネラ、(D)環境応答、(E)全能性、(F)代謝性、(G)植物分子	5703	
		形態・構造	(A)動物形態、(B)植物形態、(C)微生物形態、(D)形態形成、(E)組織形態、(F)実験形態、(G)微細構造、(H)顕微鏡技術	5704	
		動物生理・行動	(A)代謝生理、(B)行動生理、(C)動物生理・化学	5705	
		生物多様性・分類	(A)分類群、(B)分類体系、(C)進化、(D)多様性、(E)分類形質、(F)系統、(G)種分化、(H)自然史	5706	
	生物科学	構造生物化学	(A)糖質と脂質、(B)タンパク質と酵素、(C)核酸、(D)遺伝子及び染色体、(E)生体膜及び受容体、(F)細胞間マトリックス、(G)細胞小器官、(H)生体物質の機器分析、(J)翻訳後修飾、(K)分子認識、(L)変性、(M)フォールディング、(N)生体分子立体構造解析及び予測、(P)NMR、(Q)質量分析、(R)高分解能電子顕微鏡解析、(S)中性子解析、(T)構造生物学、(U)X線結晶解析	5801	
		機能生物化学	(A)酵素の作用機作と調節、(B)酵素異常、(C)遺伝子の情報発現と複製、(D)生体エネルギー変換、(E)生体微量元素、(F)ホルモンと生理活性物質、(G)細胞情報伝達機構、(H)免疫生化学、(J)糖鎖生物学、(K)膜輸送と輸送タンパク質	5802	
		生物物理学	(A)タンパク質・核酸の構造・動態・機能、(B)運動・輸送、(C)生体膜・受容体・チャンネル、(D)光生物、(E)細胞情報・動態、(F)脳・神経系の情報処理、(G)理論生物学・バイオインフォマティクス、(H)構造生物学、(J)フォールディング、(K)構造・機能予測、(L)1分子計測・操作、(M)バイオイメージング、(N)非平衡・複雑系	5803	
		分子生物学	(A)生体高分子構造・機能、(B)遺伝情報複製・転写装置・再編・制御、(C)染色体構築・機能・分配、(D)細胞集合、(E)核分裂周期	5804	
		細胞生物学	(A)細胞構造・機能、(B)生体膜、(C)細胞骨格・運動、(D)細胞内・細胞間情報伝達、(E)細胞周期、(F)細胞分化、(G)細胞質分裂、(H)核構造	5805	
		発生生物学	(A)細胞分化、(B)形態形成、(C)細胞認識、(D)受精、(E)生殖細胞、(F)遺伝子発現調節、(G)発生遺伝、(H)発生進化	5806	
		進化生物学	(A)生命起源、(B)真核生物起源、(C)オルガネラ起源、(D)多細胞起源、(E)分子進化、(F)形態進化、(G)機能進化、(H)遺伝子進化、(J)進化生物学一般、(K)比較ゲノム、(L)実験進化学	5807	
	人類学	人類学	(A)形態人類学、(B)先史人類学、(C)生体機構学、(D)分子人類学、(E)生態人類学、(F)霊長類学、(G)進化人類学、(H)歯牙人類学、(J)加齢人類学、(K)ホミニゼーション、(L)応用人類学	5901	
		生理人類学	(A)生理的多型性、(B)環境適応能、(C)全身の協同、(D)機能的潜在性、(E)テクノ・アダプタビリティ	5902	
	農学	農学	育種学	(A)植物育種・遺伝、(B)育種理論、(C)遺伝資源、(D)植物分子育種	6001
			作物学・雑草学	(A)食用作物、(B)工芸作物、(C)飼料作物、(D)栽培、(E)雑草、(F)野生植物資源	6002
			園芸学・造園学	(A)果樹、(B)野菜、(C)花卉、(D)園芸利用、(E)施設利用、(F)造園、(G)景観	6003

生物系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号
(農学)	(農学)	植物病理学	(A)病態、(B)感染生理、(C)宿主認識、(D)毒素、(E)遺伝子、(F)病害防除、(G)病害抵抗性	6004
		応用昆虫学	(A)応用昆虫、(B)応用動物、(C)昆虫利用、(D)昆虫病理、(E)養蚕・蚕糸	6005
	農芸化学	植物栄養学・土壌学	(A)植物成長・生理、(B)栄養代謝、(C)代謝調節、(D)土壌分類、(E)土壌物理、(F)土壌化学、(G)土壌生物、(H)土壌環境	6101
		応用微生物学	(A)微生物学、(B)発酵生産、(C)微生物分類、(D)微生物遺伝・育種、(E)微生物代謝、(F)微生物機能、(G)微生物利用学、(H)環境微生物、(J)抗生物質生産、(K)微生物生態学、(L)微生物制御学	6102
		応用生物化学	(A)動物生化学、(B)植物生化学、(C)酵素利用学、(D)細胞培養、(E)組織培養、(F)遺伝子工学、(G)生物工学、(H)代謝工学、(J)物質生産、(K)細胞応答、(L)情報伝達、(M)微量元素	6103
		生物生産化学・生物有機化学	(A)生物活性物質、(B)細胞機能調節物質、(C)農業科学、(D)植物成長調節物質、(E)情報分子、(F)生合成、(G)天然物化学、(H)生物無機化学、(J)物理化学、(K)分析化学、(L)有機化学	6104
		食品科学	(A)食品化学、(B)食糧化学、(C)食品生化学、(D)食品物理学、(E)食品工学、(F)食品機能学、(G)食品保蔵学、(H)食品製造学、(J)栄養化学、(K)栄養生化学、(L)食品安全性	6105
		林学	林学・森林工学	(A)森林生産、(B)森林生態・保護・保全、(C)森林生物、(D)森林管理・政策、(E)森林風致、(F)森林利用、(G)緑化・環境林、(H)治山・砂防、(J)崩壊・地すべり・土石流、(K)水資源涵養・水質
	林産科学・木質工学		(A)組織構造・材形成、(B)材質・物性、(C)パルプ・紙、(D)リグニン、(E)抽出成分・微量成分、(F)化学加工、(G)保存・木質文化、(H)乾燥・機械加工、(J)接着・木質材料、(K)強度・木質構造、(L)居住性・感性	6202
	水産学	水産学一般	(A)分類、(B)発生、(C)形態、(D)生理、(E)生態、(F)漁業、(G)資源・資源管理、(H)増養殖、(J)遺伝・育種、(K)魚病、(L)水圏環境・保全、(M)海藻、(N)プランクトン、(P)微生物	6301
		水産化学	(A)タンパク質、(B)脂質、(C)糖質、(D)酵素、(E)エキス成分、(F)ビタミン、(G)色素、(H)生物活性物質、(J)食品加工、(K)食品衛生、(L)微生物、(M)生物工学	6302
	農業経済学	農業経済学	(A)農業経営、(B)農業政策、(C)農業経済、(D)農業金融、(E)農業会計、(F)農業史、(G)農業地理、(H)国際農業、(J)農業地域計画、(K)農村社会	6401
	農業工学	農業土木学・農村計画学	(A)水理、(B)水文、(C)土壌物理、(D)土質力学、(E)応用力学、(F)施設、(G)材料・施行、(H)灌漑排水、(J)農地整備、(K)農村計画、(L)測量、(M)情報処理	6501
		農業環境工学	(A)農業生産環境、(B)生物環境変動予測・制御、(C)生物環境調節、(D)生物工場、(E)閉鎖系生物生産システム、(F)生体計測、(G)生物環境情報・リモートセンシング、(H)農業情報、(J)農作業システム、(K)農作業情報、(L)農業労働科学、(M)生産・流通施設、(N)自然エネルギー、(P)生物生産機械、(Q)ポストハーベスト工学、(R)バイオプロセッシング	6502
		農業情報工学	(A)画像処理・画像認識、(B)非破壊計測、(C)インターネット応用、(D)バイオインフォマティクス、(E)コンピュータシミュレーション、(F)コンピュータネットワーク、(G)知識処理、(H)バイオメカトロニクス、(J)バイオロボティクス、(K)バイオセンシング、(L)GPS/GIS、(M)精密農業	6503
	畜産学・獣医学	畜産学・草地学	(A)草地生態、(B)草地利用、(C)草地管理・保全、(D)畜産物利用、(E)畜産バイオマス、(F)家畜福祉、(G)野生動物保全、(H)家畜生産システム、(J)飼料、(K)飼養、(L)家畜管理	6601
		応用動物科学	(A)育種、(B)繁殖、(C)生産機能制御、(D)発生工学、(E)クローン家畜、(F)生物製剤、(G)生体利用	6602
		基礎獣医学・基礎畜産学	(A)遺伝、(B)発生、(C)生理、(D)形態、(E)行動、(F)生態、(G)薬理、(H)生体情報、(J)寄生体生物	6603
		応用獣医学	(A)家畜衛生、(B)獣医公衆衛生、(C)毒性学、(D)疾病予防・制御、(E)野生動物、(F)動物福祉、(G)人畜共通感染症	6604

生物系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
(農学)	(畜産学・獣医学)	臨床獣医学	(A)内科、(B)外科、(C)臨床繁殖・産科、(D)診断、(E)検査、(F)治療、(G)予後、(H)病理・病態	6605	
	境界農学	環境農学	(A)環境分析、(B)環境汚染、(C)環境修復、(D)環境浄化、(E)水域汚染、(F)資源循環システム、(G)バイオマス、(H)遺伝子資源、(J)生物環境、(K)資源環境バランス、(L)地域農学	6701	
		応用分子細胞生物学	(A)遺伝子・染色体工学、(B)タンパク質・糖鎖工学、(C)代謝工学、(D)オルガネラ工学、(E)細胞工学、(F)発生・分化制御、(G)細胞間相互作用、(H)分子間相互作用、(J)バイオセンサー、(K)細胞機能、(L)分子情報、(M)機能分子設計	6702	
医歯薬学	薬学	化学系薬学	(A)有機化学、(B)合成化学、(C)生体関連物質、(D)天然薬物学、(E)有機反応学、(F)ヘテロ環化学	6801	
		物理系薬学	(A)物理化学、(B)分析化学、(C)製剤学、(D)情報薬品科学、(E)同位体薬品化学、(F)コンピュータ科学、(G)生物物理化学、(H)生物分子構造学	6802	
		生物系薬学	(A)生化学、(B)分子生物学、(C)免疫化学、(D)薬理学、(E)細胞生物学、(F)神経生物学、(G)構造生物学	6803	
		創薬化学	(A)医薬品化学、(B)医薬分子設計、(C)生物活性物質、(D)医薬分子機能学、(E)ゲノム創薬	6804	
		環境系薬学	(A)環境衛生学、(B)環境化学、(C)環境動態学、(D)食品衛生学、(E)栄養化学、(F)微生物科学、(G)薬用資源学、(H)中毒学、(J)レギュラトリーサイエンス	6805	
		医療系薬学	(A)病院薬学、(B)医療薬剤学、(C)薬物動態学、(D)医薬品情報学、(E)薬効解析学、(F)医薬品安全性学、(G)薬物代謝学、(H)臨床化学、(J)ドラッグデリバリー、(K)オーダーメイド医療	6806	
	基礎医学	解剖学一般 (含組織学・発生学)	1	(A)肉眼解剖学、(B)機能解剖学、(C)臨床解剖学、(D)比較解剖学、(E)画像解剖学、(F)形質人類学、(G)発生学・形態形成学、(H)先天異常学・奇形学、(J)実験形態学、(K)解剖学教育	6901
			2	(L)組織学、(M)細胞微細形態学、(N)細胞分化・組織形成、(P)細胞組織化学、(Q)分子形態、(R)顕微鏡技術	
		生理学一般	(A)分子生理学、(B)細胞生理学、(C)組織・器官生理学、(D)システム生理学、(E)一般生理学	6902	
		環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	(A)環境生理学、(B)体力医学、(C)栄養生理学、(D)適応・協同生理学、(E)生体リズム、(F)発達・成長・老化	6903	
		薬理学一般	(A)腎臓、(B)循環、(C)骨格筋・平滑筋、(D)消化器、(E)炎症・免疫、(F)生理活性物質、(G)中枢・末梢神経	6904	
		医化学一般	(A)生体分子医学、(B)細胞医科学、(C)臨床遺伝医科学、(D)発生医学、(E)再生医学、(F)加齢医学、(G)高次生命医学	6905	
		病態医化学	(A)異常代謝学、(B)分子病態学、(C)分子遺伝子診断学、(D)分子腫瘍学、(E)分子病態栄養学	6906	
		人類遺伝学	(A)分子遺伝学、(B)細胞遺伝学、(C)薬理遺伝学、(D)遺伝生化学、(E)遺伝疫学、(F)遺伝診断学、(G)遺伝子治療学、(H)遺伝カウンセリング、(J)生命倫理学	6907	
		人体病理学	(A)脳・神経、(B)消化器、(C)呼吸器、(D)循環器、(E)泌尿生殖器、(F)骨・筋肉、(G)血液、(H)分子病理、(J)地理病理、(K)腫瘍、(L)診断病理学、(M)細胞診断、(N)テレパソロジー、(P)環境病理	6908	
実験病理学	(A)動物、(B)細胞、(C)分子、(D)超微形態、(E)腫瘍、(F)炎症、(G)中毒病理、(H)発生病理、(J)疾患モデル動物	6909			
寄生虫学(含衛生動物学)	(A)寄生虫、(B)原虫、(C)昆虫、(D)哺乳類、(E)分子、(F)疫学、(G)発生、(H)遺伝	6910			
細菌学(含真菌学)	(A)病原性、(B)感染免疫、(C)疫学、(D)遺伝、(E)分類	6911			
ウイルス学	(A)分子、(B)細胞、(C)個体疫学、(D)病原性、(E)診断、(F)プリオン、(G)ワクチン	6912			

生物系

分野	分科	細目名	キーワード(記号)	細目番号	
(医歯薬学)	(基礎医学)	免疫学	(A) 抗原、(B) 抗体、(C) 補体、(D) サイトカイン、(E) 細胞、(F) 接着分子	6913	
	境界医学	医療社会学	(A) 病院管理学、(B) 医療管理学、(C) 医療情報学、(D) バイオエシックス、(E) 医学史、(F) 医学教育学、(G) 医療経済学、(H) リスクマネジメント	7001	
		応用薬理学	(A) 臨床薬理学、(B) 薬物治療学、(C) 医薬品副作用、(D) 薬物輸送学、(E) ファーマコゲノミックス、(F) 同位体医療薬学、(G) 機器医療薬学	7002	
		病態検査学	(A) 臨床検査医学、(B) 臨床病理学、(C) 臨床化学、(D) 免疫血清学、(E) 臨床検査システム	7003	
	社会医学	衛生学	(A) 環境保健、(B) 予防医学、(C) 産業衛生、(D) 環境疫学、(E) 分子遺伝疫学、(F) 医学統計、(G) 生命倫理、(H) 環境中毒、(J) 産業中毒、(K) 環境生理、(L) 地球環境、(M) 災害事故、(N) 人間工学、(P) 交通医学、(Q) 食品衛生	7101	
		公衆衛生学・健康科学	(A) 地域保健、(B) 母子保健、(C) 学校保健、(D) 成人保健、(E) 保健栄養、(F) 健康管理、(G) 健康教育、(H) 医療行動学、(J) 人口問題、(K) 国際保健学、(L) 保健医療行政、(M) 病院管理学、(N) 医療情報学、(P) 介護保険	7102	
		法医学	(A) 法医学、(B) 医の倫理、(C) 犯罪精神医学、(D) 矯正医学、(E) 保険医学、(F) 診療録管理学、(G) 法医鑑定学、(H) アルコール医学、(J) 法歯学、(K) DNA多型医学、(L) 法医病理学	7103	
	内科系臨床医学	内科学一般(含心身医学)		(A) 心療内科学、(B) ストレス科学、(C) 東洋医学、(D) 伝統薬物、(E) 代替医療、(F) 総合診療、(G) プライマリケア	7201
		消化器内科学	1	(A) 消化器学(食道、胃、小腸、大腸)、(B) 消化管内視鏡学	7202
			2	(C) 肝臓病学、(D) 膵臓病学、(E) 胆道学	
		循環器内科学	1	(A) 心臓病態学	7203
			2	(B) 血管病態学	
		呼吸器内科学		(A) 呼吸器病学、(B) 縦隔疾患学、(C) 胸膜疾患学、(D) 呼吸生理学	7204
		腎臓内科学		(A) 腎臓学、(B) 高血圧学、(C) 水・電解質代謝学、(D) 人工透析学	7205
		神経内科学		(A) 神経病態生化学、(B) 神経病態薬理学、(C) 神経病態免疫学、(D) 臨床神経生理学、(E) 臨床神経形態学、(F) 臨床神経分子遺伝学、(G) 臨床神経心理学	7206
		代謝学		(A) 糖尿病学、(B) 動脈硬化学、(C) 代謝異常学	7207
		内分泌学		(A) 内分泌学、(B) 生殖内分泌学	7208
		血液内科学		(A) 血液内科学、(B) 血栓・止血学、(C) 輸血学、(D) 小児血液学、(E) 造血幹細胞移植学、(F) 血液免疫学、(G) 免疫制御学	7209
		膠原病・アレルギー・感染症内科学		(A) 膠原病学、(B) リウマチ学、(C) アレルギー学、(D) 臨床免疫学、(E) 感染症学	7210
		小児科学	1	(A) 発達小児科学、(B) 成育医学、(C) 小児神経学、(D) 小児内分泌学、(E) 小児代謝・栄養学、(F) 小児循環器学、(G) 小児呼吸器学、(H) 遺伝・先天異常学、(J) 小児保健学、(K) 小児社会医学	7211
			2	(L) 小児血液学、(M) 小児腫瘍学、(N) 小児免疫・アレルギー・膠原病学、(P) 小児感染症学、(Q) 小児腎・泌尿器学、(R) 小児消化器病学	
	胎児・新生児医学		(A) 出生前診断、(B) 胎児医学、(C) 先天異常学、(D) 新生児医学、(E) 未熟児医学	7212	
	皮膚科学		(A) 皮膚診断学、(B) 皮膚病理学、(C) 性病学、(D) レーザー治療学、(E) 皮膚生理学、(F) 皮膚腫瘍学、(G) 色素細胞学、(H) 皮膚感染症	7213	
	精神神経科学		(A) 精神薬理学、(B) 精神生理学、(C) 精神病理学、(D) 社会精神医学、(E) 児童精神医学、(F) 老年精神医学、(G) 司法精神医学、(H) 神経心理学	7214	

生物系

分野	分科	細目名	1	キーワード(記号)	細目番号	
(医歯薬学)	(内科系臨床医学)	放射線科学	1	(A) 画像診断学 (含放射線診断学、核医学)	7215	
			2	(B) 放射線治療学		
	外科系臨床医学	外科学一般	1	(A) 外科総論、(B) 移植外科学、(C) 人工臓器学、(D) 血管外科学、(E) 脾門脈外科学	7301	
			2	(F) 実験外科学、(G) 内分泌外科学、(H) 乳腺外科学、(J) 代謝栄養外科学		
		消化器外科学	1	(A) 食道外科学、(B) 胃十二指腸外科学、(C) 小腸大腸肛門外科学	7302	
			2	(D) 肝臓外科学、(E) 胆道外科学、(F) 膵臓外科学、(G) 脾門脈外科学		
		胸部外科学		(A) 心臓大血管外科学、(B) 呼吸器外科学、(C) 縦隔外科学		7303
		脳神経外科学		(A) 頭部外傷学、(B) 脳腫瘍学、(C) 脳血管障害学、(D) 脳血管内外科学、(E) 機能脳神経外科学、(F) 小児脳神経外科学、(G) 脊髄・脊椎疾患学		7304
		整形外科	1	(A) 脊椎脊髄病学、(B) 筋・神経病学、(C) 骨・軟部腫瘍学、(D) 四肢機能再建学、(E) 理学療法学、(F) 運動器リハビリテーション学	7305	
			2	(G) 関節病学、(H) リウマチ病学、(J) 骨・軟骨代謝学、(K) 小児運動器学、(L) 運動器外傷学、(M) スポーツ医学		
		麻酔・蘇生学		(A) 麻酔学、(B) 蘇生学、(C) 周術期管理学、(D) 疼痛治療学		7306
		泌尿器科学	1	(A) 泌尿器科学	7307	
			2	(B) 副腎外科学、(C) 腎移植、(D) アンドロロジー		
		産婦人科学	1	(A) 産科学、(B) 生殖医学	7308	
			2	(C) 婦人科学、(D) 婦人科腫瘍学、(E) 更年期医学		
		耳鼻咽喉科学		(A) 耳鼻咽喉学、(B) 頭頸部外科学、(C) 気管食道学		7309
	眼科学		(A) 眼科学、(B) 神経眼科学、(C) 眼光学		7310	
	小児外科学		(A) 先天性消化器疾患学、(B) 先天性心大血管外科学、(C) 胎児手術学、(D) 小児泌尿器科学、(E) 小児呼吸器外科学、(F) 小児腫瘍学		7311	
	形成外科学		(A) 再建外科学、(B) 創傷治癒学、(C) マイクロサージェリー学、(D) 組織培養・移植学、(E) 再生医学		7312	
	救急医学		(A) 集中治療医学、(B) 外傷外科学、(C) 救急蘇生学、(D) 急性中毒学、(E) 災害医学		7313	
	歯学	形態系基礎歯科学		(A) 口腔解剖学 (含組織学・発生学)、(B) 口腔病理学、(C) 口腔細菌学		7401
		機能系基礎歯科学		(A) 口腔生理学、(B) 口腔生化学、(C) 歯科薬理学		7402
		病態科学系歯学・歯科放射線学		(A) 実験腫瘍学、(B) 免疫・感染・炎症、(C) 歯科放射線学一般、(D) 歯科放射線診断学		7403
		保存治療系歯学		(A) 保存修復学、(B) 歯内療法学		7404
		補綴理工系歯学		(A) 歯科補綴学一般、(B) 有床義歯学、(C) 冠橋義歯学、(D) 歯科インプラント学、(E) 歯科用材料・歯科理工学		7405
		外科系歯学	1	(A) 口腔外科学一般 (含病態検査学)、(B) 歯科麻酔学		7406
2			(C) 臨床腫瘍学			
矯正・小児系歯学		(A) 歯科矯正学、(B) 小児歯科学、(C) 小児口腔保健学		7407		
歯周治療系歯学		(A) 歯周免疫機能学、(B) 歯周外科学、(C) 歯周予防学		7408		
社会系歯学		(A) 口腔衛生学 (含公衆衛生学・栄養学)、(B) 予防歯科学、(C) 歯科医療管理学、(D) 歯科法医学、(E) 老年歯科学、(F) 歯科心身医学		7409		

生 物 系

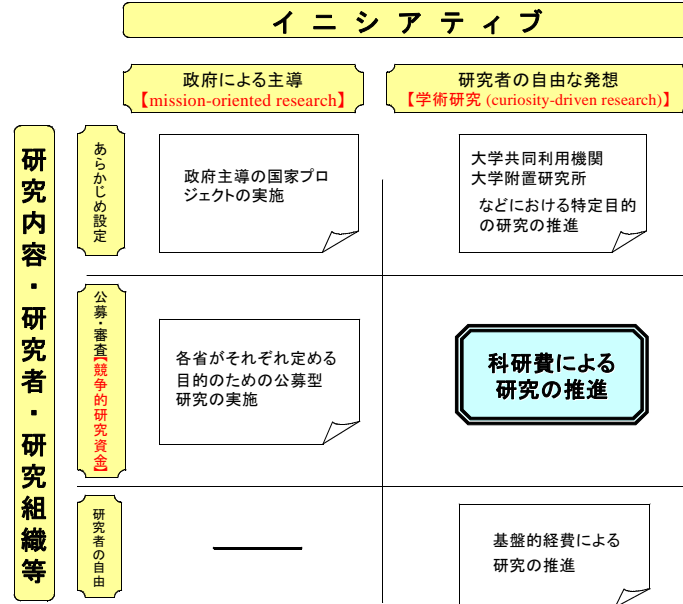
分 野	分 科	細 目 名	キーワード（記号）	細目番号
(医歯薬学)	看護学	基礎看護学	(A)看護学概論、(B)看護哲学、(C)看護技術、(D)看護倫理学、(E)災害看護、(F)看護教育学、(G)看護管理学、(H)看護行政学	7501
		臨床看護学	(A)重篤・救急看護学、(B)周手術期看護学、(C)慢性病看護学、(D)リハビリテーション看護学、(E)がん看護学、(F)ターミナルケア、(G)母性・女性看護学、(H)助産学、(J)小児看護学、(K)家族看護学	7502
		地域・老年看護学	(A)地域看護学、(B)精神看護学、(C)老年看護学、(D)公衆衛生看護学、(E)在宅看護、(F)訪問看護	7503

II 科学研究費補助金の概要

1 科学研究費補助金の目的・性格

科学研究費補助金（科研費）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

＜政府による研究推進の分類と「科研費」の位置づけ＞



※ 科研費（平成17年度予算1,880億円）は、政府全体の科学技術関係経費（約3.6兆円）の約5%、政府全体の競争的研究資金（約4,700億円）の約40%を占めています。

2 研究種目

研究機関が研究者に代わってその管理及び諸手続を行うものは、次の研究種目です。

研究種目等	研究種目の目的・内容
科学研究費	
特別推進研究	国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究（期間3～5年間、1課題5億円程度を目安とするが、制限は設けない）
特定領域研究	我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取り組みが必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定して機動的かつ効果的に研究の推進を図る（期間3～6年間、単年度当たりの目安1領域 2千万円～6億円程度）
基盤研究	1人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究（基盤研究（S））（期間5年間、1課題5,000万円以上1億円程度まで） 1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究（応募総額によりA・B・Cに区分）（期間2～4年間、ただし、企画調査を行うものは1年間） （A）2,000万円以上 5,000万円以下 （B）500万円以上 2,000万円以下 （C）500万円以下
萌芽研究	独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究（期間1～3年間、1課題500万円以下）
若手研究	37歳以下の研究者が1人で行う研究（応募総額によりA・Bに区分）（期間2～3年間） （A）500万円以上 3,000万円以下 （B）500万円以下
特別研究促進費	緊急かつ重要な研究課題の助成
特別研究員奨励費	独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（外国人特別研究員を含む。）が行う研究の助成（期間3年以内）
学術創成研究費	科学研究費補助金等による研究のうち特に優れた研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図る（期間5年間、推薦制）

3 文部科学省と独立行政法人日本学術振興会の関係

平成10年度までは、文部省（現文部科学省）においてすべての研究種目の公募・審査・交付業務が行われていましたが、平成11年度から独立行政法人日本学術振興会（以下「日本学術振興会」という。）への移管を開始しており、現在は、将来の完全移管に向けた過度期にあります。現時点での公募・審査・交付業務は、次ように行われており、今後も徐々に、移管が進められる予定です。

研究種目	応募・審査 (公募要領の作成主体、応募書類の提出先)	交付 (交付内定・決定通知を行う主体、交付申請書・各種手続書類等の提出先)
第1種科研費		
特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費	文部科学省	文部科学省
第2種科研費		
萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費	日本学術振興会	文部科学省
第3種科研費		
基盤研究、学術創成研究費	日本学術振興会	日本学術振興会

4 科研費に関するルール

(1) 科研費は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）」及び「科学研究費補助金取扱規程（文部省告示）」等の適用を受けるものです。

(2) 科研費には、次の3つのルールがあります。

- ① 応募ルール：応募・申請に関するルール
- ② 評価ルール：事前評価（審査）・中間評価・事後評価に関するルール
- ③ 使用ルール：交付された科研費の使用に関するルール

(3) 科研費の3つのルールは、第1種科研費、第2種科研費、第3種科研費ごとに次のように適用されます。

	応募ルール	評価ルール	使用ルール
第1種科研費	文部科学省 公募要領	文部科学省 科学研究費補助金における 評価に関する規程	文部科学省 【研究者向け】 補助条件 【研究機関向け】 科学研究費補助金の使用について各研究機関が行うべき事務等
第2種科研費	日本学術振興会 公募要領	日本学術振興会	日本学術振興会 【研究者向け】 補助条件 【研究機関向け】 科学研究費補助金の使用について各研究機関が行うべき事務等
第3種科研費		科学研究費補助金（基盤研究等）の審査方針等	

Ⅲ 応募書類の作成・応募方法等

1 電子申請システムを利用した応募

本研究種目は、日本学術振興会の電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）を利用して、応募書類の一部を作成する必要があります。については、別添「電子申請システムを利用した応募の手続」（37頁）に定める「（2）研究者が行う手続」を参照し、必要な手続きを行ってください。

2 応募書類の作成

応募書類は、研究代表者の所属する研究機関がすべて取りまとめて提出することになります。

研究代表者は、「応募情報（Web入力項目）（「特別研究促進費」（年複数回応募の試行））作成・入力要領」及び「平成18年度科学研究費補助金研究計画調書作成・記入要領」に基づいて、研究計画調書を作成し、所属する研究機関に提出してください。

なお、作成・研究機関への提出に際しては、特に次の点に留意してください。

研究計画調書

- ① 研究計画調書は次の2つから構成されます。提出に当たっては、「電子申請システム」に登録した応募情報（Web入力項目）を印刷し、別途印刷した応募内容ファイルの上に付けて研究計画調書を作成してください。

前半部分：応募情報（Web入力項目）（注1）を出力（印刷）して使用してください。

（注1） 従来の応募カードの情報（研究課題名、応募額等応募研究課題に係る基本データ）に相当するものであり、研究代表者が電子申請システムによりWeb上で入力する部分

後半部分：応募内容ファイル（注2）の様式を文部科学省の科学研究費補助金ホームページから取得して作成してください。

（注2） 従来の研究計画調書のうち応募情報に関連する部分を除いた、研究目的、研究計画・方法等の研究計画の内容に係る部分

- ② 研究計画調書は、所定の様式と同一の規格とし、**様式の改変は認めません。**
- ③ 研究計画調書は、前半部分（応募情報）と後半部分（応募内容ファイル）をそれぞれ両面印刷して、後半部分は先頭ページがおもて面となるように作成し、前半部分と後半部分を併せて必ず左側をのり付けしてください。
- ⑤ 研究計画調書の所定の左横2ヶ所に穴を開けてください。

3 応募方法

(1) 応募等の時期

研究機関が行う諸手続の期限等に留意して、研究代表者の手続を進めてください。

平成18年 3月上旬～ 各研究機関から「電子証明書発行依頼書（科学研究費補助金用）」を提出（日本学術振興会から「研究機関用の電子証明書」及び「ID・パスワード」を発行）（既に取得済みの場合を除く。）

3月上旬～5月中旬 各研究機関から研究者へ「ID・パスワード」を発行（既に取得済みの場合を除く。）

3月上旬～ 各研究者による研究計画調書の作成（応募情報のWeb入力及び応募内容ファイルの作成）
（応募情報のWeb入力は、4月中旬以降入力可能となります。なお、応募内容ファイルの様式は、「ID・パスワード」取得前でも文部科学省の科学研究費補助金ホームページから取得できます。）

5月19日（金） 応募締め切り（下記(3)参照）

(2) 応募書類及び提出部数

区 分		研究計画調書		提出部数
		前半 ----- 応募情報（Web入力項目）	後半 ----- 応募内容ファイルの様式	
基盤研究相当	A	「電子申請システム」により「応募情報（Web入力項目）」に入力するとともに印刷。	S-1-14	20部
	B		S-1-14	20部
	C		S-1-14	17部
若手研究相当	A		S-1-15	17部
	B		S-1-15	17部

(3) 提出期間

研究代表者は、所属する研究機関が指定する期日までに、当該研究機関に応募書類を提出してください。（直接文部科学省へ提出されても受理しません。）

各研究機関から文部科学省への提出期間は36頁を参照してください。

IV 研究機関が行う事務

1 応募資格の確認

応募書類に記載された研究代表者及び研究分担者が、この公募要領に定める応募資格を有する者であるとともに、「研究者名簿」に登録されているか確認すること。

2 研究代表者への確認

応募書類に記載された研究代表者及び研究分担者が、この公募要領に定める「I 今回の公募の内容」を確認した上で応募書類を作成していることを確認すること。

3 応募に係る手続

次の手続を行うこと。

- (1) 電子申請システムを利用した応募の手続（別添「電子申請システムを利用した応募の手続」(37～38頁) 参照）
- (2) 公募要領の内容の周知
- (3) 応募書類の確認・取りまとめ及び文部科学省への提出（下記「4 応募書類の取りまとめ」及び「5 応募書類の提出等」参照）

4 応募書類の取りまとめ

別添「電子申請システムを利用した応募の手続」(37～38頁) に定める「(1) 研究機関が行う事前手続」及び「(3) 研究機関が行う手続」を行うとともに、以下の手順にしたがって研究計画調書の取りまとめを行うこと。

①「研究計画調書」の確認

研究計画調書は、所定の様式と同一規格とし、次の点を確認すること。

- (ア) 研究計画調書の前半部分に、当該研究計画に係る応募情報（Web入力項目）を出力（印刷）して使用し、ダウンロードした様式により作成した応募内容ファイルとあわせて一つの研究計画調書を作成しているか。
- (イ) 「チェックリスト」（別添「電子申請システムを利用した応募の手続」(37～38頁) に定める「(3) 研究機関が行う手続」参照）に記載されている版数と研究計画調書に記載されている版数が同一であるか。

(ウ)前半部分（応募情報）と後半部分（応募内容ファイル）がそれぞれ両面印刷されており、後半部分（応募内容ファイル）については、先頭ページがおもて面になっているか。

(エ)研究計画調書の左横がのり付けされているか。

(オ)所定の左横2ヶ所に穴が開いているか。

(カ)所定の様式に正しく複写されているか。

区 分		研究計画調書の色 (※)	研究種目番号	審査区分番号	応募内容 ファイル様式	提出部数
基盤研究相当	A	黒色	15	2	S-1-14	20部
	B	黒色	15	3	S-1-14	20部
	C	黒色	15	4	S-1-14	17部
若手研究相当	A	紫色	15	5	S-1-15	17部
	B	紫色	15	6	S-1-15	17部

※ 各研究計画の区分ごとに定められた色を塗ること。

② 「研究計画調書」ごとのまとめ

研究計画調書は各研究課題ごとに、必要部数を取りまとめ、上部をクリップで留めること。

③ 「研究計画調書」の取りまとめ

研究計画調書の取りまとめは、次の要領に従ってください。

(ア)次の(a)～(e)に分ける。

- (a)基盤研究（A）相当
- (b)基盤研究（B）相当
- (c)基盤研究（C）相当
- (d)若手研究（A）相当
- (e)若手研究（B）相当

(イ)上記「(ア)」の区分ごとにまとめた各研究計画調書を、「チェックリスト」（別添「電子申請システムを利用した応募の手続」（37～38頁）に定める「(3) 研究機関が行う手続」参照）と同じ順番で並べ替えてください。

（「チェックリスト」は、上記「(ア)」の区分ごとで、「細目表」の細目番号・分割番号の順に、さらに同一細目番号・分割番号内では整理番号の順に表示されている。）

(ウ)上記「(ア)」の区分ごとにまとめた研究計画調書には「研究計画調書の表紙」（様式T-2-1）（別添「電子申請システムを利用した応募の手続」（37～38頁）に定める「(3) 研究機関が行う手続」参照）を添付し、所定の左横2ヶ所に穴を開け、綴りひもでとじること。（用紙はA4判（縦長）90kg程度を用いること。）

5 応募書類の提出等

(1) 応募情報の提出

「電子申請システム」により、応募書類の提出前に、応募情報の提出処理（「チェックリスト」の確定処理。別添「電子申請システムを利用した応募の手続」（37～38頁）に定める「（3）研究機関が行う手続」参照）を行うこと。

(2) 応募書類の提出方法

ア) 提出する応募書類は、綴りひもでとじて取りまとめた次の書類です。

① 表紙を付けた研究計画調書

② 応募書類の提出書（様式T-1-3）

※ 「電子申請システム」から出力（印刷）し、必要事項を記入の上、提出すること。

イ) 提出方法

< 応募書類を持参する場合 >

① の書類は、受付担当者に提出すること。

② の書類は、所定の場所に提出すること。

【提出期間】

平成18年5月17日（水）～5月19日（金）

（午前9時30分～正午まで 及び 午後1時～午後4時30分まで【時間厳守】）

受付場所：独立行政法人日本学術振興会 一番町第2事務室 8階会議室

（住友一番町F Sビル内）（予定）

< 応募書類を送付する場合 >

応募書類を送付する場合は配達証明できる方法（配達記録、小包、簡易書留、宅配便等）により「若手研究（スタートアップ）」（日本学術振興会担当分）とは別便で平成18年5月17日（水）～5月19日（金）に到着するように、余裕を持って発送すること。（封筒等の表には「科学研究費補助金研究計画調書在中」と朱書きし、「機関番号（5桁）」を明記すること。）

なお、送付された応募書類のうち、平成18年5月18日（木）までに発送したことが証明できる場合に限り、5月22日（月）に到着したものまで受理する。

郵便等送付先：〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地（住友一番町F Sビル）

独立行政法人日本学術振興会 研究事業部 研究助成課 気付

「文部科学省応募書類受付担当」

(3) 留意事項

応募書類の取りまとめ、提出に際しては次の点に留意すること。

① 文部科学省が応募書類を受け付けるのは1回限りです。（応募書類の受付が終了した後、追加で応募書類は受け付けません。）

② 受付が終了した研究計画調書等の訂正、再提出等は認めません。

③ 文部科学省に提出した応募書類の写を保管しておくこと。

電子申請システムを利用した応募の手続

今回募集する研究計画の応募情報（Web入力項目）については、日本学術振興会電子申請システム（以下、「電子申請システム」）により提出（送信）してください。

「電子申請システム」を利用するに際しては、以下の手続が必要となります。

（１） 研究機関が行う事前手続

- ① 応募を予定している研究者がいる場合は、「日本学術振興会電子申請システム電子証明書発行依頼書（科学研究費補助金用）」を返信用封筒（「A4」3枚が入る返送先が掲載されているもの）を同封のうえ、日本学術振興会システム管理課に提出（提出された依頼書に基づき、日本学術振興会から「研究機関用の電子証明書及びID・パスワード」を送付します。）してください。

※ 1. 平成17年度に電子証明書及びID・パスワードを取得している研究機関は、再度発行依頼書を提出する必要はありません。

※ 2. 科学研究費補助金の各研究種目毎に電子証明書及びID・パスワードを取得する必要はありません。

※ 3. 「日本学術振興会電子申請システム電子証明書発行依頼書（科学研究費補助金用）」の様式は、「電子申請のご案内」（<http://www-shinsei.jstps.go.jp/>）から取得してください。

- ② 研究機関用の電子証明書及びID・パスワードを取得後、研究代表者として応募を予定している研究者に対し、研究機関においてID・パスワードを付与してください。

なお、研究機関が研究者に対しID・パスワードを付与する時点で、当該研究者が研究機関の研究者名簿に登録されていることが必要です。

※ 研究者名簿に正しく登録されており、平成17年度にID・パスワードを取得している研究者に対しては、再度ID・パスワードを付与する必要はありません。

（２） 研究者が行う手続

- ① 今回募集する研究計画に研究代表者として応募する研究者は、所属する研究機関から付与されたID・パスワードで「電子申請のご案内」（<http://www-shinsei.jstps.go.jp/>）から電子申請システムにアクセスし、「応募情報（Web入力項目）（特別研究促進費（年複数回応募の試行））作成・入力要領」に基づき、応募情報（Web入力項目）を入力してください。

※ 研究者名簿に正しく登録されており、平成17年度にID・パスワードを付与されている研究者は、再度ID・パスワードを取得する必要はありません。

- ② 作成した応募情報（Web入力項目）を印刷し、別途ダウンロードした様式により作成し印刷した応募内容ファイルの上付けて研究計画調書を作成し、所属する研究機関に提出してください。

（３） 研究機関が行う手続

- ① 応募者から提出された研究計画調書について、内容等に不備がないかを確認してください。
- ② 「電子申請のご案内」（<http://www-shinsei.jstps.go.jp/>）から電子申請システムにアクセスし、提出された研究計画調書の版数がチェックリストに掲載された版数と同じであることを確認してください。
- ③ 内容等に不備のないすべての研究計画調書について、応募書類の提出前に、チェックリストの確定処理を行ってください。

④ 研究計画調書をチェックリストの順に並べ替え、「電子申請システム」より出力（印刷）した表紙（様式T-2-1）を添付してください。

⑤ 研究計画調書を、文部科学省へ提出してください。

研究機関によるチェックリストの確定処理がなされた応募情報のみ、「電子申請システム」による応募情報が提出（送信）されたこととなります。研究機関によりチェックリストの確定処理がされた応募情報については、その内容について確定後に変更することはできません。

また、本システムで使用する電子証明書やID・パスワードについては研究機関や個人を確認するものであることから、その取り扱い、管理についても十分留意のうえ、応募の手続を行ってください。

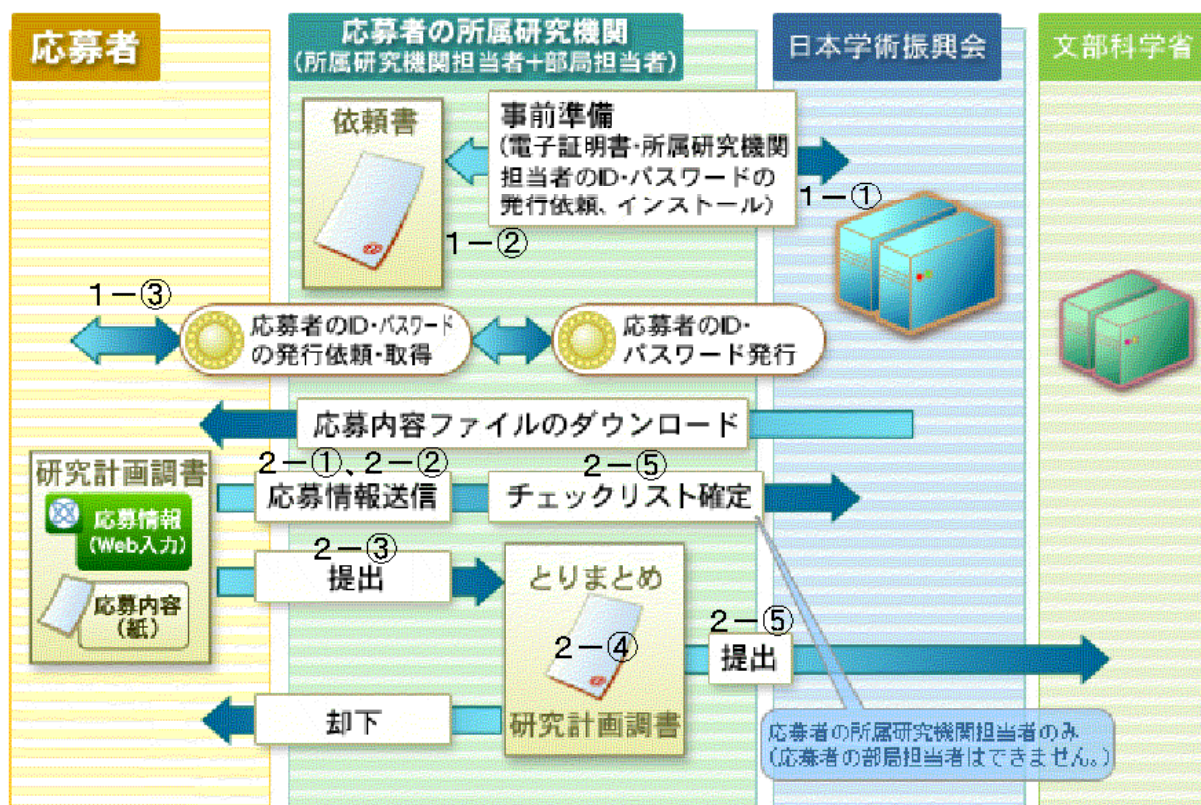
なお、電子申請についての詳細は、「電子申請のご案内」(<http://www-shinsei.jpsps.go.jp/>)をご参照ください。

問合せ先

この公募に関する問い合わせは、**研究機関を通じて**下記あてに行ってください。

- 1 電子申請システムの利用に関すること：独立行政法人日本学術振興会総務部システム管理課
電話 03-3263-1902, 1913
- 2 公募の内容に関すること：文部科学省研究振興局学術研究助成課
電話 03-5253-4111（内線 4094）

電子申請手続きの概要



【応募者（研究代表者）の所属する研究機関の担当者】

- 1-① 応募者の所属研究機関担当者は、電子証明書（通信するために必要なデータ）の発行申請依頼を、郵送にて日本学術振興会システム管理課宛に送付する。
- 1-② 日本学術振興会から応募者の所属研究機関に電子証明書とID・パスワードを発行し、送付する。
（3月上旬～）
- 1-③ 応募者の所属研究機関担当者は、応募者にID・パスワードを発行する。

【応募者（研究代表者）】

- 2-① 応募者は受領したID・パスワードで、「電子申請のご案内」から電子申請システムにアクセスし、応募情報（Web入力項目）を入力する。
- 2-② 応募者が作成した応募情報（Web入力項目）に不備がなければ、完了操作を行うことで所属研究機関担当者に応募情報（Web入力項目）を提出したことになる。
- 2-③ 応募者は、作成した応募情報（Web入力項目）を印刷し、別途ダウンロードした様式により作成し、印刷した応募内容ファイルの上に付けて研究計画調書を作成し、所属する研究機関に提出する。

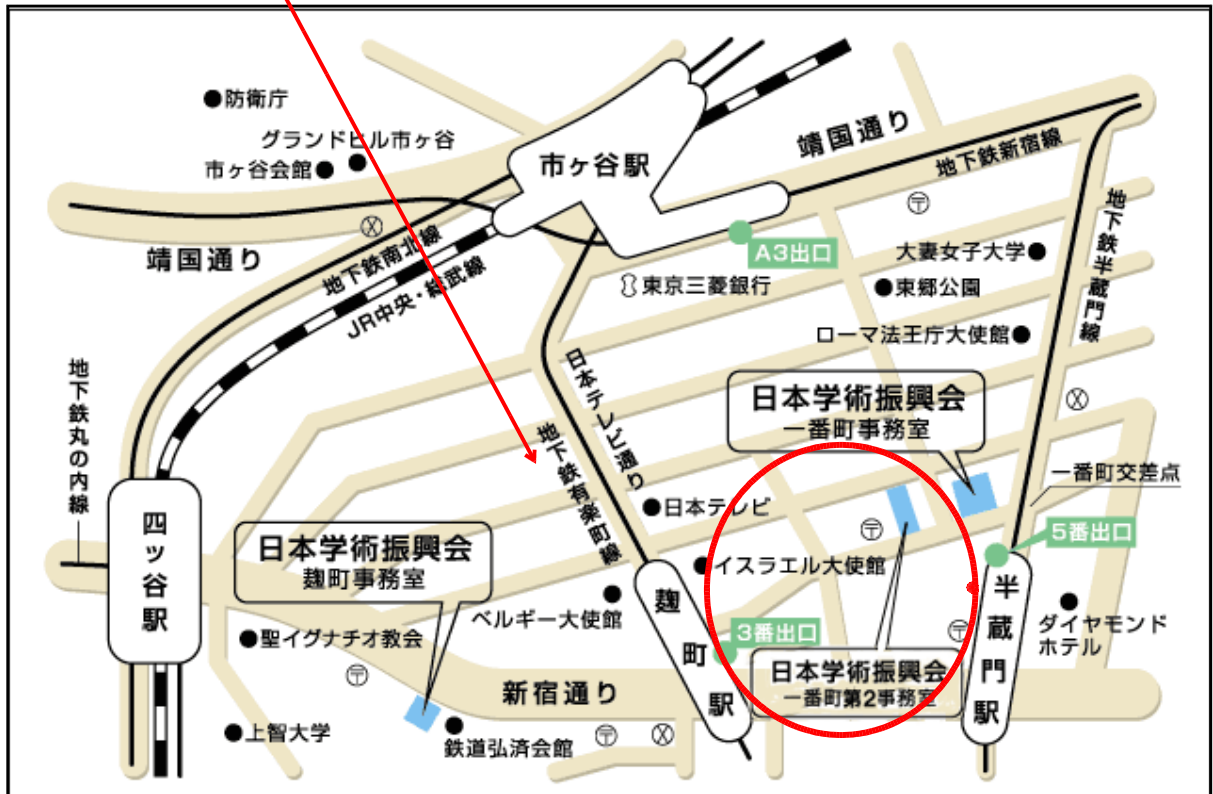
【応募者（研究代表者）の所属する研究機関の担当者】

- 2-④ 応募者の所属研究機関担当者は、応募者から提出された研究計画調書について、内容等に不備がないかを確認する。
- 2-⑤ 応募者の所属研究機関担当者は、応募情報が一覧表示された「チェックリスト」を確定し、応募情報を日本学術振興会に提出（送信）するとともに、研究計画調書を文部科学省に提出する。

※ 詳細は「電子申請のご案内」（<http://www-shinsei.jsps.go.jp/>）から「操作手引（科学研究費補助金事業用）」をダウンロードしてご覧ください。

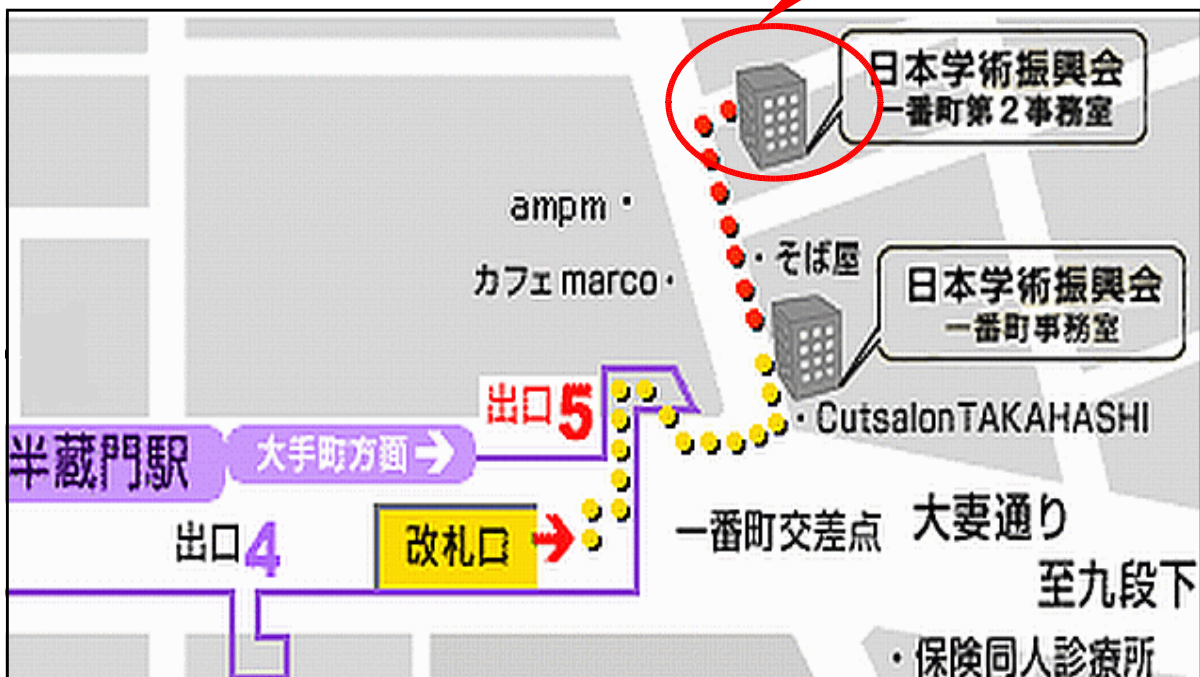
応募書類受付会場案内図

＜受付会場＞独立行政法人日本学術振興会 一番町第2事務室 8階会議室
 (住友一番町F Sビル内) (予定)



＜受付会場＞

【周辺拡大図】



V 参 考 資 料

1 平成17年度科学研究費補助金の交付状況

(1) 新規

平成17年8月現在

研究種目	研究課題数			研究経費			1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率	採択分の応募額	配分額	充足率	平均	最高
	件	件	%	千円	千円	%	千円	千円
科学研究費	(81,660) 92,398	(18,404) 19,934	(22.5) 21.6	(84,070,190) 95,236,397	(63,856,200) 72,209,800 【 4,308,300 】	(76.0) 75.8	(3,470) 3,622	(329,000) 190,300
特別推進研究	(128) 151	(19) 20	(14.8) 13.2	(1,925,374) 1,773,022	(1,693,500) 1,596,200 【 478,860 】	(88.0) 90.0	(89,132) 79,810	(329,000) 190,300
特定領域研究	(7,587) 9,518	(1,868) 2,186	(24.6) 23.0	(14,258,595) 22,139,693	(10,903,600) 16,632,000	(76.5) 75.1	(5,837) 7,608	(143,700) 177,500
基盤研究(S)	(396) 455	(65) 74	(16.4) 16.3	(1,912,112) 2,299,641	(1,694,800) 1,992,800 【 597,840 】	(88.6) 86.7	(26,074) 26,930	(55,100) 61,800
基盤研究(A)	(2,123) 2,515	(509) 526	(24.0) 20.9	(9,838,159) 9,860,305	(7,586,200) 7,711,000 【 2,313,300 】	(77.1) 78.2	(14,904) 14,660	(33,200) 36,700
基盤研究(B)	(12,032) 12,098	(2,769) 2,654	(23.0) 21.9	(23,488,451) 21,927,685	(18,070,000) 17,090,400	(76.9) 77.9	(6,526) 6,439	(14,300) 14,900
基盤研究(C)	(26,778) 30,168	(5,973) 6,410	(22.3) 21.2	(14,478,248) 15,602,096	(10,694,400) 11,380,400	(73.9) 72.9	(1,790) 1,775	(3,700) 3,600
萌芽研究	(14,545) 16,119	(1,779) 1,801	(12.2) 11.2	(4,901,581) 4,921,414	(3,360,400) 3,397,400	(68.6) 69.0	(1,889) 1,886	(3,900) 3,700
若手研究(A)	(1,048) 1,245	(200) 324	(19.1) 26.0	(2,504,782) 3,905,966	(1,947,300) 3,061,000 【 918,300 】	(77.7) 78.4	(9,737) 9,448	(23,200) 21,600
若手研究(B)	(14,042) 17,320	(4,308) 5,078	(30.7) 29.3	(10,039,806) 12,089,975	(7,366,000) 8,808,600	(73.4) 72.9	(1,710) 1,735	(3,600) 3,500
奨励研究	(2,981) 2,809	(914) 861	(30.7) 30.7	(723,082) 716,600	(540,000) 540,000	(74.7) 75.4	(591) 627	(970) 980
研究成果公開促進費	(1,497) 1,434	(738) 760	(49.3) 53.0	(3,713,546) 3,601,376	(2,823,130) 2,866,960	(76.0) 79.6	(3,825) 3,772	(63,500) 54,500
特別研究員奨励費	(1,967) 2,452	(1,967) 2,452	(100.0) 100.0	(2,365,716) 2,891,401	(2,075,832) 2,406,070	(87.7) 83.2	(1,055) 981	(3,000) 3,000
学術創成研究費	(80) 86	(20) 20	(25.0) 23.3	(1,741,734) 1,878,681	(1,552,000) 1,644,100 【 493,230 】	(89.1) 87.5	(77,600) 82,205	(97,400) 103,500
合 計	(85,204) 96,370	(21,129) 23,166	(24.8) 24.0	(91,891,186) 103,607,855	(70,307,162) 79,126,930 【 4,801,530 】	(76.5) 76.4	(3,328) 3,416	(329,000) 190,300

(注1) ()内は、前年度を示す。
(注2) 【 】は、間接経費(外数)。

(2) 新規＋継続

平成17年8月現在

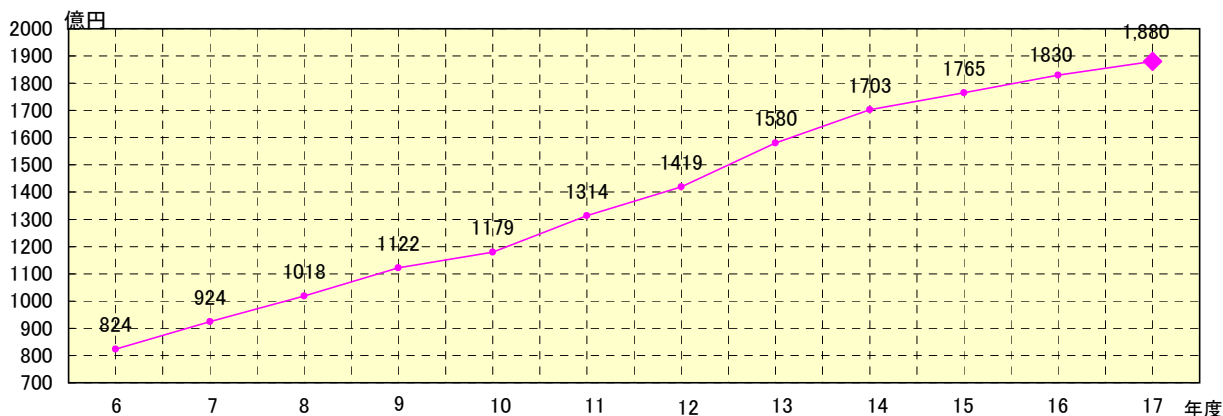
研究種目	研究課題数			研究経費			1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率	採択分の応募額	配分額	充足率	平均	最高
	件	件	%	千円	千円	%	千円	千円
科学研究費	(106,762) 118,201	(43,442) 45,648	(40.7) 38.6	(163,922,768) 166,357,583	(140,318,871) 142,576,423 【 10,185,510 】	(85.6) 85.7	(3,230) 3,123	(360,000) 300,000
特別推進研究	(189) 215	(80) 84	(42.3) 39.1	(8,537,741) 6,840,022	(7,702,500) 6,445,600 【 1,933,680 】	(90.2) 94.2	(96,281) 76,733	(360,000) 300,000
特定領域研究	(9,257) 11,275	(3,537) 3,943	(38.2) 35.0	(40,077,415) 39,514,556	(33,937,900) 33,469,900	(84.7) 84.7	(9,595) 8,488	(216,800) 177,500
基盤研究(S)	(588) 704	(257) 316	(43.7) 44.9	(5,013,712) 5,925,341	(4,796,400) 5,618,500 【 1,685,550 】	(95.7) 94.8	(18,663) 17,780	(55,100) 61,800
基盤研究(A)	(3,425) 3,780	(1,798) 1,771	(52.5) 46.9	(19,966,659) 19,498,505	(17,714,700) 17,349,200 【 5,204,760 】	(88.7) 89.0	(9,852) 9,796	(33,200) 36,700
基盤研究(B)	(17,168) 17,245	(7,877) 7,770	(45.9) 45.1	(40,266,771) 39,156,185	(34,846,300) 34,318,900	(86.5) 87.6	(4,424) 4,417	(14,300) 14,900
基盤研究(C)	(35,820) 39,274	(14,993) 15,487	(41.9) 39.4	(23,165,948) 24,378,082	(19,382,100) 20,156,386	(83.7) 82.7	(1,293) 1,302	(3,700) 3,600
萌芽研究	(16,376) 18,175	(3,610) 3,855	(22.0) 21.2	(6,791,181) 7,082,014	(5,250,000) 5,558,000	(77.3) 78.5	(1,454) 1,442	(3,900) 3,700
若手研究(A)	(1,351) 1,547	(503) 626	(37.2) 40.5	(3,879,782) 5,383,366	(3,322,300) 4,538,400 【 1,361,520 】	(85.6) 84.3	(6,605) 7,250	(23,200) 21,600
若手研究(B)	(19,607) 23,177	(9,873) 10,935	(50.4) 47.2	(15,500,477) 17,862,912	(12,826,671) 14,581,537	(82.8) 81.6	(1,299) 1,333	(3,600) 3,500
奨励研究	(2,981) 2,809	(914) 861	(30.7) 30.7	(723,082) 716,600	(540,000) 540,000	(74.7) 75.4	(591) 627	(970) 980
研究成果公開促進費	(1,530) 1,464	(771) 790	(50.4) 54.0	(3,856,266) 3,789,661	(2,965,850) 3,050,410	(76.9) 80.5	(3,847) 3,861	(63,500) 54,500
特別研究員奨励費	(4,877) 5,575	(4,877) 5,575	(100.0) 100.0	(5,168,060) 5,879,290	(4,878,176) 5,393,959	(94.4) 91.7	(1,000) 968	(3,000) 3,000
学術創成研究費	(149) 173	(89) 107	(59.7) 61.8	(7,078,134) 8,105,581	(6,888,400) 7,871,000 【 2,361,300 】	(97.3) 97.1	(77,398) 73,561	(250,000) 150,000
合計	(113,318) 125,413	(49,179) 52,120	(43.4) 41.6	(180,025,228) 184,132,115	(155,051,297) 158,891,792 【 12,546,810 】	(86.1) 86.3	(3,153) 3,049	(360,000) 300,000

(注1) ()内は、前年度を示す。

(注2) 【 】は、間接経費(外数)。

2 予算額等の推移

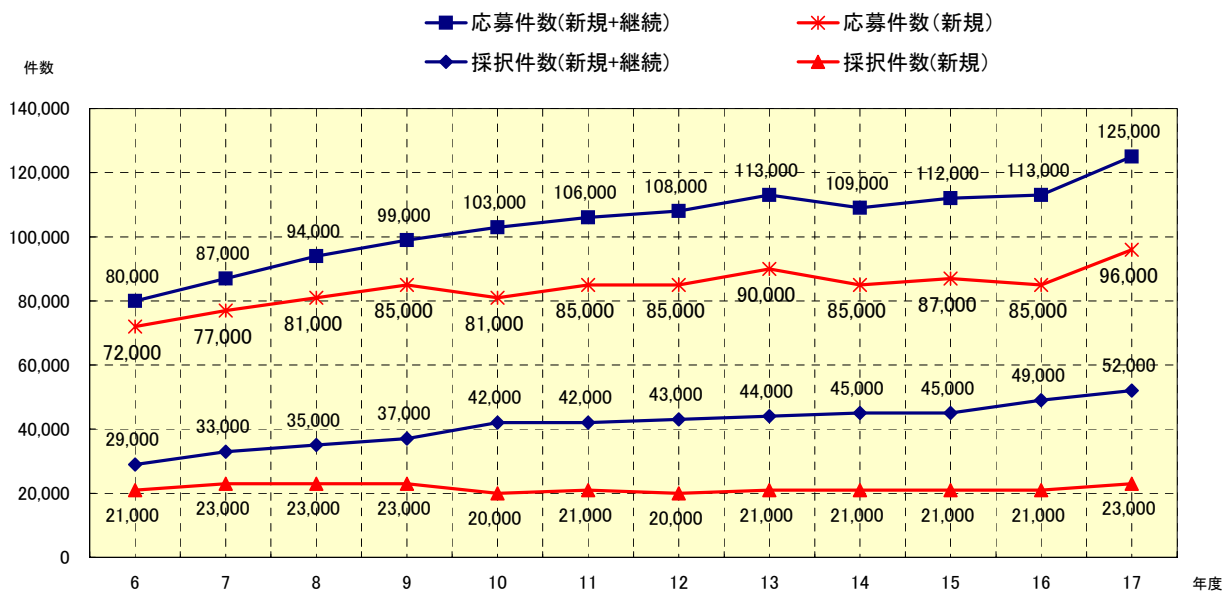
(1) 予算額の推移



年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
予算額(億円)	824	924	1,018	1,122	1,179	1,314	1,419	1,580	1,703	1,765	1,830	1,880
対前年度伸び率(%)	12.0	12.1	10.2	10.2	5.1	11.5	8.0	11.3	7.8	3.6	3.7	2.7
※指数	—	—	—	—	—	—	1.00	1.11	1.20	1.24	1.29	1.32

(注) 指数は、平成12年度(第Ⅱ期科学技術基本計画が策定された前年)を1.00としたもの。

(2) 応募・採択の状況



(3) 採択率・充足率(新規分)の状況

年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
採択率(%)	28.6	29.4	28.3	27.1	24.8	24.3	23.9	23.1	24.6	23.7	24.8	24.0
充足率(%)	74.0	74.9	74.6	72.3	71.5	74.7	77.2	78.2	76.1	76.2	76.5	76.4

(注) 各年度における当初配分時の数字である。

3 平成17年度研究種目一覧

(文部科学省が交付を行うもの)

研究種目等	研究種目の目的・内容
科学研究費	
特別推進研究	国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究 (期間3～5年、1課題5億円程度を目安とするが、制限は設けない)
特定領域研究	我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取組が必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定して機動的かつ効果的に研究の推進を図る (期間3～6年、単年度当たりの目安1領域 2千万円～6億円程度)
萌芽研究 ※	独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究 (期間1～3年、1課題 500万円以下)
若手研究 ※	37歳以下の研究者が一人で行う研究 (期間2～3年、応募総額によりA・Bに区分) (A)500万円以上3,000万円以下 (B) 500万円以下
特別研究促進費	緊急かつ重要な研究課題の助成
研究成果公開促進費	
研究成果公开发表	研究者グループ等による学術的価値が高い研究成果の社会への公開や国際発信の助成
特別研究員奨励費 ※	日本学術振興会の特別研究員(外国人特別研究員を含む。)が行う研究の助成 (期間3年以内)

※印の研究種目等の公募、審査については、日本学術振興会が行う

(日本学術振興会が交付を行うもの)

研究種目等	研究種目の目的・内容
科学研究費	
基盤研究	1人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究 基盤研究(S) (期間5年、1課題 5,000万円以上1億円程度まで) 1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間2年～4年、ただし、企画調査を行うものは1年) (応募総額によりA・B・Cに区分) (A) 2,000万円以上 5,000万円以下 (B) 500万円以上 2,000万円以下 (C) 500万円以下
奨励研究	教育・研究機関の職員、企業の職員又はこれら以外の者で科学研究を行っている者が1人で行う研究 (期間1年、1課題 100万円以下)
研究成果公開促進費	
学術定期刊行物	学会又は、複数の学会の協力体制による団体等が、学術の国際交流に資するため定期的に刊行する学術誌の助成
学術図書	個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の助成
データベース	個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、学術情報システム等を通じ公開利用を目的とするものの助成
学術創成研究費	科学研究費補助金等による研究のうち特に優れた研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図る (推薦制 期間5年)

問合せ先

- 1 この公募に関する問い合わせは、**研究機関を通じて**下記あてに行ってください。
 - (1) 公募の内容に関すること：文部科学省研究振興局学術研究助成課
電話 03-5253-4111（内線 4094）
 - (2) 電子申請システムの利用に関すること：独立行政法人日本学術振興会総務部システム管理課
電話 03-3263-1902, 1913

- 2 この公募要領に記載されている内容は、文部科学省のホームページでご覧いただけます。
また、応募書類の様式は、次のホームページからダウンロードすることができます。

文部科学省のホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm